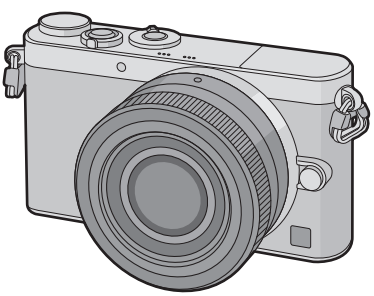
Panasonic

取扱説明書

デジタルカメラ/レンズキット

品番
DMC-GM1K



LUMIX

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- **ご使用前に「安全上のご注意」(85～90ページ)を必ずお読みください。**
- **さらに詳しい操作説明は、本機のCD-ROM(付属)に記録された「取扱説明書 活用ガイド」(PDF形式)に記載されています。パソコンにコピーしてお読みください。(94ページ)**
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

安全上のご注意
準備
基本
撮る・見る
Wi-Fi
モニター表示・メニュー一覧
パソコンとの接続
その他・Q&A

保証書別添付

VQT5D48-1
F1013HN1113

目次

準備

本機の特長 4
ご使用の前に 5
同梱品 6
各部の名前と働き 7
準備 10
レンズを交換する 10
ショルダーストラップを付ける 10
バッテリーを充電する 11
バッテリーを入れる・取り出す 11
カード(別売)を入れる・取り出す 12
カードをフォーマット(初期化)する 12
記録可能枚数・時間の目安 12
時計を設定する 13
メニューを使って設定する 14
メニューの設定方法 14
よく使うメニューをすぐに呼び出す(クイックメニュー) 15
よく使う機能をボタンに割り当てる(ファンクションボタン) 15

基本

本機の構え方について 16
構えた向きを検出する(縦位置検出機能) 16
写真を撮る 17
タッチシャッター機能を使って撮る 17
動画を撮る 18
撮影モードを選ぶ 19
撮影画面の表示情報を切り換える 19
再生する 20
写真を見る 20
動画を見る 21
再生画面の表示情報を切り換える 21
画像を消去する 22

撮る・見る

カメラにおまかせで撮る(インテリジェントオートモード) 23
インテリジェントオートプラスモードとインテリジェントオートモードについて 24
手持ちで夜景を撮る(i手持ち夜景) 24
階調豊かな写真に合成する(iHDR) 24
背景をぼかして撮る(ボケ味コントロール) 25
明るさや色合いを変えて撮る 25
お好みの設定で撮る(プログラム AE モード) 26
絞り/シャッタースピードを決めて撮る 27
絞り優先AE モード 27
シャッター優先AE モード 27
マニュアル露出モード 27
絞り効果 / シャッタースピード効果を確認する(プレビューモード) 28
撮影シーンに合わせて撮る(シーンガイドモード) 29
画像効果を変えて撮る(クリエイティブコントロールモード) 29
お好みの設定を登録して撮る(カスタムモード) 30
お好みのメニュー設定を登録する(カスタムセット登録) 30
登録したカスタムセットで撮る 30
効果をつけて画質を調整する(フォトスタイル) 31
ホワイトバランスを調整する 32
画質とサイズを設定する 32
画像の横縦比を選ぶ 32
記録画素数を設定する 33
画像の圧縮率を設定する(クオリティ) 33
自動でピントを合わせて撮る(オートフォーカス) 34
フォーカスモードについて(AFS、AFF、AFC) 34
手動でピントを合わせて撮る(マニュアルフォーカス) 35

「安全上のご注意」を必ずお読みください（85～90ページ）

露出やピントを固定して撮る（AF/AEロック）....37
露出を補正して撮る....37
ISO感度を設定する....38
明るさの測り方を選ぶ（測光モード）....38
狙った場所に簡単に明るさを合わせる（タッチ AE）....39
シャッター方式を設定する....40
単写 / 連写 / オートブラケット / セルフタイマーを選ぶ（ドライブモード）....41
連写する....42
露出を自動的に変えながら撮る（オートブラケット撮影）....43
セルフタイマーを使って撮る....44
操作音と発光の禁止を一括で設定する（サイレントモード）....44
ズームを使って撮る....45
フラッシュを使って撮る....46
フラッシュモードを切り換える....46
動画から写真を作成する....47
画像を連続再生する（スライドショー）....47
画像を絞り込んで再生する（再生モード）....48
不要な部分を消去する（クリアレタッチ）....48

Wi-Fi

スマートフォン/タブレットとつないで使う....49
スマートフォン/タブレットアプリ「Image App」をインストールする....49
スマートフォン/タブレットと接続する....50
スマートフォン/タブレットで撮影する（リモート撮影）....50
カメラの画像を保存する/SNSへ送信する....51
カメラを操作してスマートフォン / タブレットに画像を送る....51
接続方法を変える....54

モニター表示・メニュー一覧

モニターの表示....57
メニュー一覧....62
撮影....62
動画....63
カスタム....64
セットアップ....65
再生....66

パソコンとの接続

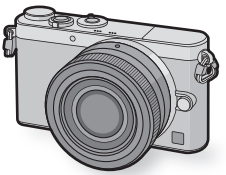
付属のソフトウェアを使う....67

その他・Q&A

別売品のご紹介....69
メッセージ表示....71
Q&A 故障かな？と思ったら....72
使用上のお願い....76
無線LAN使用上のお願い....80
仕様....81
保証とアフターサービス（よくお読みください）....91
さらに詳しい説明は....94
CLUB Panasonic ご愛用者登録のご案内....95

本機の特長

本機は、小さなボディに沈胴機構のキットレンズを採用した、持ち歩きやすいコンパクトタイプのデジタル一眼カメラです。
また、Wi-Fi 機能を使って素早くスマートフォン / タブレットとも連携できます。



iA インテリジェントオートで、簡単・きれい

カメラを向けるだけで、シーンを自動認識。シーンに最適な撮影モードに自動で切り換わります。「明るさ」「色合い」「ボケ味」などが調整できるので、自分らしさを簡単にプラスできます。

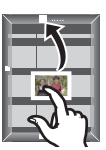
● i 手持ち夜景

● iHDR

Image App をインストールしてスマートフォン / タブレットと連携

● リモート撮影

● スマートフォンに写真を保存



●SNS へ写真を転送

Wi-Fi 機能でさまざまな機器と連携、Web にも接続

- テレビに写真をワイヤレスで表示
- 写真をワイヤレスプリント
- AV 機器に画像を送る
- パソコンに画像を送る
- Web サービスに画像を送る

これらの Wi-Fi 機能や、撮影・再生・編集をサポートする多彩な機能を CD-ROM（付属）の「取扱説明書 活用ガイド」（PDF 形式）でさらに詳しくご紹介しています。

■ 本機の取り扱いについて…

本機に、強い振動や衝撃、圧力をかけないでください。

- 下記のような状態で使用すると、レンズやモニター、外装ケースが破壊される可能性があります。また、誤動作や、画像が記録できなくなることもあります。
  – 本機を落とす、またはぶつける
  – レンズ部やモニターを強く押さえつける

本機は、防じん・防滴・防水仕様ではありません。
ほこり・水・砂などの多い場所でのご使用を避けてください。

- 下記のような場所で使用すると、レンズやボタンの隙間から液体や砂、異物などが入ります。故障などの原因になるだけでなく、修理できなくなることがありますので、特にお気をつけください。
  – 砂やほこりの多いところ
  – 雨の日や浜辺など水がかかるところ

デジタルカメラボディのマウント内に手を入れないでください。
センサー部は精密機器ですので故障、破損の原因になります。

■ 露付きについて(レンズ、モニターが曇るとき)…

- 露付きは、温度差や湿度差があると起こります。レンズやモニターの汚れ、かび、故障の発生原因になりますのでお気をつけください。
- 露付きが起こった場合、電源スイッチを [OFF] にし、2 時間ほどそのままにしてください。周囲の温度になじむと、曇りが自然に取れます。

■ 事前に必ず試し撮りをしてください

大切な撮影(結婚式など)は、必ず事前に試し撮りをし、正常に撮影や録音されていることを確かめてください。

■ 撮影内容の補償はできません

本機およびカードの不具合で撮影や録音されなかった場合の内容の補償についてはご容赦ください。

■ 著作権にお気をつけください

あなたが撮影や録音したものは、個人として楽しむ以外は、著作権法上権利者に無断では使用できません。個人として楽しむ目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでお気をつけください。

本文中の記号について

MENU: [MENU/SET] ボタンを押してメニューの設定をすることを示しています。

Wi-Fi: [Wi-Fi] ボタンを押して Wi-Fi の設定をすることを示しています。

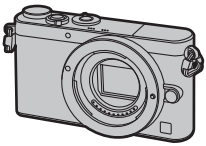
: カスタムメニューで設定を行う項目を示しています。

: 上手に使うためのヒントや撮影のポイントを記載しています。

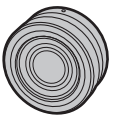
: 特定の機能が使えなくなる条件を記載しています。

本書では、メニュー設定の手順を次のように説明しています。
MENU ボタン→[撮影]→[クオリティ]→[ ]

同梱品



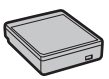
デジタルカメラボディ
（本文中では**本体**と表記します）



交換レンズ※1
H-FS12032
（本文中では**レンズ**と表記します）

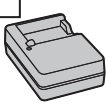
付属品をご確認ください。
記載の品番は2013年10月現在のものです。変更されることがあります。

☐ **バッテリーパック**
DMW-BLH7
（本文中では**バッテリー**と表記します）
●充電してからお使いください。



☐ **CD-ROM**
●ソフトウェア
●取扱説明書 活用ガイド
（パソコンにインストールしてお使いください）

☐ **バッテリーチャージャー**※3
DE-A99A
（本文中では**チャージャー**と表記します）



☐ **ショルダーストラップ**
VFC5071

☐ **USB 接続ケーブル**
K1HY08YY0031

☐ **レンズキャップ**※2
VYF3562

※1 お買い上げ時はデジタルカメラボディに装着されています。
※2 お買い上げ時は交換レンズに装着されています。
※3 予備のチャージャーを購入されるときは、別売品のチャージャー(DMW-BTC9)をお買い求めください。

- **カードは別売です。**
- 別売品については69ページを参照してください。
- 包装材料などは商品を取り出したあと、適切に処理をしてください。
- 小物部品については乳幼児の手の届かないところに適切に保管してください。
- 本書では交換レンズ(H-FS12032)を用いて説明をしています。

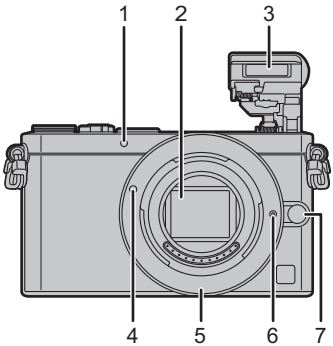
CLUB Panasonic
Pana Sense

付属品は販売店でお買い求めいただけます。
パナソニックの家電製品直販サイト「パナセンス」でお買い求めいただけるものもあります。
詳しくは「パナセンス」のサイトをご覧ください。
http://club.panasonic.jp/mall/sense/
携帯電話からもお買い求めいただけます。
http://p-mp.jp/cpm/

各部の名前と働き

■ デジタルカメラボディ

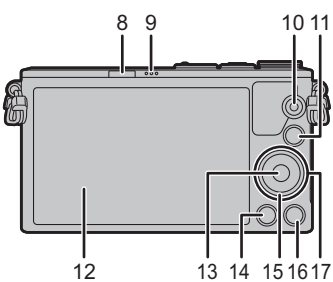
1 セルフタイマーランプ(P44)
AF補助光ランプ
2 センサー
3 フラッシュ発光部(P46)
4 レンズ取り付けマーク(P10)
5 マウント
6 レンズロックピン
7 レンズ取り外しボタン(P10)

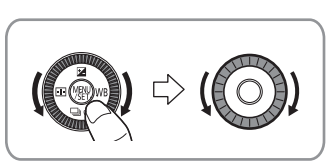


8 フラッシュOPEN(オープン) レバー(P46)
- フラッシュが開き、フラッシュ撮影が可能になります。

9 スピーカー
- スピーカーを指で塞がないようお気をつけください。音が聞こえにくくなります。

10 動画ボタン(P18)
11 [▶](再生)ボタン(P20)
12 タッチパネル(P9)/モニター(P57)
13 [MENU(メニュー)/SET(セット)] ボタン(P14)
14 [🗑](消去)ボタン(P22)/
[Q.MENU/↩](クイックメニュー/戻る)ボタン(P15)
15 コントロールダイヤル
- 本書ではコントロールダイヤルを回す操作を右図のように説明しています。

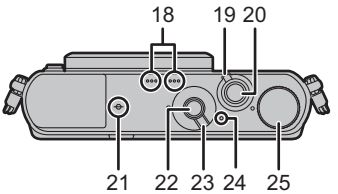




16 [DISP.(ディスプレイ)] ボタン(P19、21)
- 押すごとにモニターの表示を切り換えます。

17 カーソルボタン
- 本書ではカーソルボタンの上下左右を ▲/▼/◀/▶ で説明しています。

▲(上)/[+/-](露出補正)(P25、27、37)
▶(右)/[WB](ホワイトバランス)(P32)
◀(左)/[ ]](オートフォーカスモード)(P34)
▼(下)/[ ](ドライブモード)(P41)
単写(P17)/ 連写(P42)/ オートブラケット(P43)/ セルフタイマー(P44)



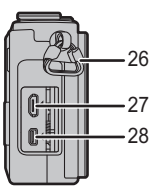
18 ステレオマイク
- マイクを指で塞がないようお気をつけください。音が記録されにくくなります。

19 電源スイッチ(P13)
20 シャッターボタン(P17)
21 撮影距離基準マーク
- 撮影距離基準マークは撮影距離の基準となるマークです。マニュアルフォーカスや接写の目安にしてください。

22 [Fn1(ファンクション)] ボタン(P15)
- [Fn1]ボタンは、お買い上げ時は[Wi-Fi]が設定されています。(P49)

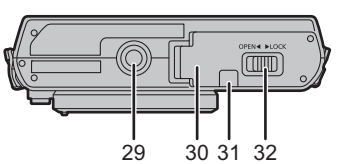
23 フォーカスモードレバー(P34、35)
24 電源表示ランプ(P13)/
Wi-Fi®接続ランプ(P49)
- 電源[ON]時は緑色に、Wi-Fi接続時は青色に点灯します。

25 モードダイヤル(P19)



26 ショルダーストラップ取り付け部(P10)
27 [HDMI]端子
- HDMIマイクロケーブル(別売)を使ってテレビと接続できます。

28 [AV OUT/DIGITAL(アウト デジタル)]端子
- AVケーブル(別売)、USB接続ケーブルを使って機器と接続できます。



29 三脚取り付け部
- ねじの長さが5.5 mm以上の三脚を取り付けると、本機を傷つける場合があります。

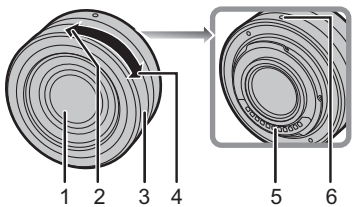
30 カード/バッテリー扉(P11、12)
31 DCカプラー扉
- ACアダプターを使用するときは、当社製のACアダプター(別売:DMW-AC8)とDCカプラー(別売:DMW-DCC15)を使用してください。

32 開閉レバー

■ 同梱レンズ

1　レンズ面
2　T側(望遠)
3　ズームリング(P45)
4　W側(広角)
5　接点
6　レンズ取り付けマーク

H-FS12032



●交換レンズ(H-FS12032)にはフォーカスリングがありませんが、本体を操作してマニュアルフォーカスを行えます。詳しくは、35 ページをお読みください。

タッチパネル(静電容量方式)

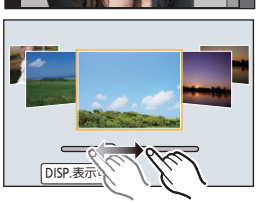
タッチパネルは直接指で操作してください。

■ タッチする

タッチパネルに触れて離す動作です。
●複数のアイコンを同時にタッチすると、正常に動作しないことがありますので、アイコンの中央付近をタッチしてください。

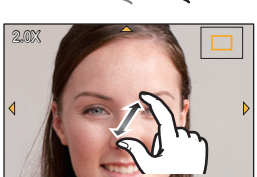
■ ドラッグする

タッチパネルに触れたまま動かす動作です。
再生時は画像を送ることなどもできます。



■ ピンチする(広げる・縮める)

タッチパネルを 2 本の指で広げる(ピンチアウト)と拡大し、縮める(ピンチイン)と縮小します。

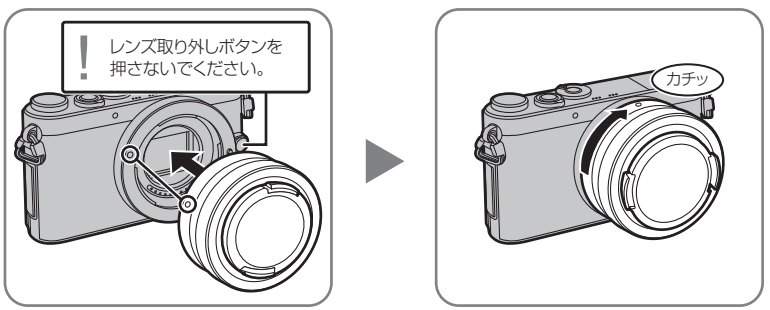


●タッチパネルは、清潔で乾燥している指でタッチしてください。
●ボールペンなどの先のとがった硬いもので押さないでください。
●爪を立てて操作しないでください。
●モニターを強い力でこすったり、押したりしないでください。
●タッチパネルに表示されるアイコンについては、57 ページの「モニターの表示」をお読みください。

●電源スイッチが[OFF]になっていることを確認してください。

レンズを交換する

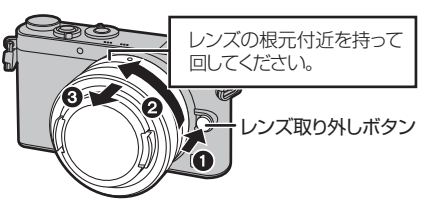
●交換レンズ(H-FS12032)をお使いのときは、レンズの取り付け·取り外しは、レンズ鏡筒が収納されている状態で行ってください。
●レンズの交換は、ごみやほこりの少ない場所で行ってください。



■ レンズの取り外し方

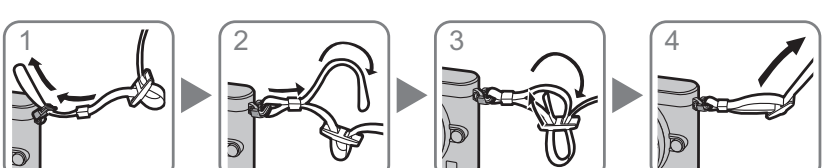
1 レンズキャップを付ける

2 レンズ取り外しボタンを押しながら、レンズを矢印の方向に止まるまで回して外す



ショルダーストラップを付ける

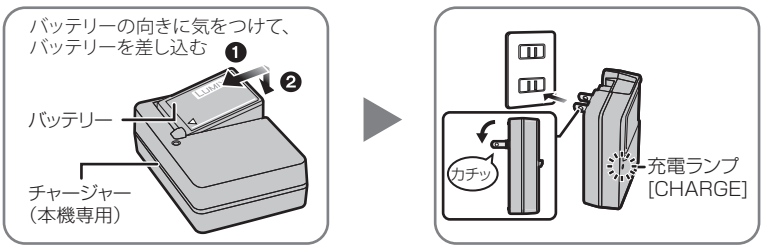
●落下防止のため、ショルダーストラップを取り付けてご使用いただくことをお勧めします。



●手順1～4の操作を行って、もう片方のショルダーストラップも取り付けてください。

バッテリーを充電する

本機で使えるバッテリーはDMW-BLH7です。



■ 充電ランプの表示について

点灯：充電中

消灯：充電完了（充電完了後は、チャージャーを電源コンセントから抜き、バッテリーを取り外してください）

■ 充電時間について

充電時間	約130分

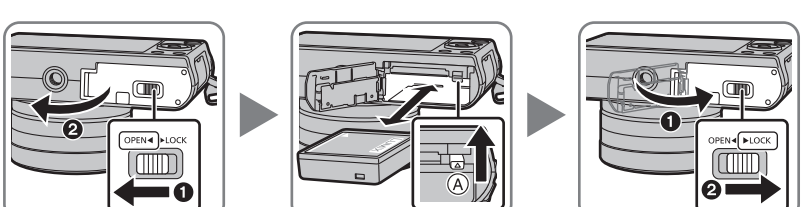
- **充電時間はバッテリーを使い切ってから充電した場合の時間です。バッテリーの使用状況によって充電時間は変わります。高温/低温時や長時間使用していないバッテリーは充電時間が長くなります。**

■ 海外旅行先で使う

チャージャーは、日本国内で使用することを前提として設計されておりますが、海外旅行等での使用は問題ありません。

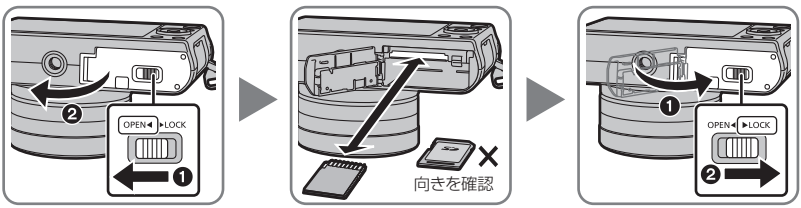
- 電源電圧（100 V～240 V）、電源周波数（50 Hz、60 Hz）でご使用いただけます。
- 国、地域によって電源コンセントの形状は異なるため変換プラグが必要です。
  変換プラグは旅行会社や販売店にご相談のうえ、お求めください。
- 市販の変圧器などを使用すると、故障するおそれがありますので、使用しないでください。

バッテリーを入れる・取り出す



- 向きに気をつけて、ロック音がするまで確実に奥まで挿入し、バッテリーにⒶのレバーがかかっていることを確認してください。取り出すときは、Ⓐのレバーを矢印の方向に引いて取り出してください。

カード（別売）を入れる・取り出す



- 向きに気をつけて、「カチッ」と音がするまで確実に奥まで入れてください。
  取り出すときは、「カチッ」と音がするまで押し、まっすぐ引き抜いてください。

■ 本機で使用できるカードについて

SDメモリーカード（8 MB～2 GB）/miniSDカード※/microSDカード※
SDHCメモリーカード（4 GB～32 GB）/microSDHCカード※
SDXCメモリーカード（48 GB、64 GB）
※ 本機で使用する場合は、専用のアダプターを必ず装着してお使いください。

■ 動画撮影とSDスピードクラスについて

動画撮影の際は、カードのラベル面などでSDスピードクラス（連続的な書き込みに関する速度規格）をご確認ください。[AVCHD]、[MP4]動画には「Class4」以上のカードを使用してください。

（例）　CLASS④　④

- **最新情報は下記サポートサイトでご確認ください。**
  http://panasonic.jp/support/dsc/

カードをフォーマット（初期化）する

本機で撮影する前に、カードをフォーマットします。**フォーマットするとデータを元に戻すことができませんので、必要なデータを保存してからフォーマットしてください。**

メニューを設定する（P14）

MENU ボタン→ [セットアップ]→[フォーマット]

- 確認画面が表示されます。[はい]を選ぶと実行されます。

記録可能枚数・時間の目安

■ 記録可能枚数（写真：枚）

- **画像横縦比 [4:3]、クオリティ [▪▪] の場合**

記録画素数	2 GB	8 GB	32 GB	64 GB
L（16M）	220	900	3640	7260
M（8M）	410	1650	6690	13000
S（4M）	690	2800	11360	21480

● 画像横縦比 [4:3]、クオリティ [RAW] の場合

記録画素数	2 GB	8 GB	32 GB	64 GB
L(16M)	68	270	1110	2230
M(8M)	79	320	1300	2580
S(4M)	86	340	1410	2800

■ **記録可能時間(動画撮影時)**(h: 時間、m: 分、s: 秒)

● 記録可能時間は複数の動画を記録したときの合計時間です。

● **記録方式 [AVCHD] の場合**

画質設定	2 GB	8 GB	32 GB	64 GB
[FHD/60i]	14m00s	1h1m	4h9m	8h26m
[FHD/30p]/[FHD/24p]	10m00s	43m00s	2h57m	5h58m
[HD/60p]	14m00s	1h1m	4h9m	8h26m

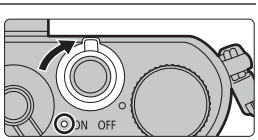
● **記録方式 [MP4] の場合**

画質設定	2 GB	8 GB	32 GB	64 GB
[FHD/30p]	11m00s	49m00s	3h22m	6h50m
[HD/30p]	22m00s	1h34m	6h27m	13h4m
[VGA/30p]	49m00s	3h28m	14h11m	28h45m

● [MP4]で1つの動画として連続記録できる時間は29分59秒まで、ファイルサイズは4 GBまでです。([MP4]の[FHD/30p]では、ファイルサイズが大きくなるため、記録できる時間は 29分59秒より短くなります)

時計を設定する

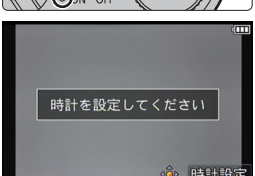
● **お買い上げ時は、時計設定されていません。**



1 **電源スイッチを [ON] にする**

● **電源が入ると電源表示ランプが緑色点灯します。**

2 **[MENU/SET] ボタンを押す**



3 **◄/► ボタンで合わせたい項目(年・月・日・時・分)を選び、▲/▼ボタンで設定する**

4 **[MENU/SET] ボタンを押して決定する**

5 **確認画面で [MENU/SET] ボタンを押す**

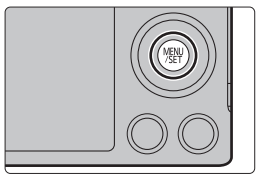
● 交換レンズ(H-FS12032)装着時、レンズ鏡筒が収納されている状態ではメッセージが表示され、撮影することができません。ズームリングを回し、レンズを繰り出してください。(P16)

● **バッテリーなしでも約3か月間、時計用内蔵電池を使って時計設定を記憶できます。(内蔵電池を充電するには、満充電されたバッテリーを本機に約24時間入れたままにしてください)**

メニューを使って設定する

メニューの設定方法

1 [MENU/SET] ボタンを押す



[📷] 撮影(P62～)	横縦比、画素数などをお好みで設定できます。
[🎬] 動画(P63)	記録方式や画質設定など、動画撮影時の設定ができます。
[Fc] カスタム(P64～)	画面の表示方法やボタンの働きなど、本機の操作をお好みに応じて設定できます。また、変更した設定内容を登録しておくことができます。
[🔧] セットアップ(P65～)	時計の設定や電子音の切り換えなど、使いやすさの設定ができます。Wi-Fi 機能に関する設定もできます。
[▶] 再生(P66)	画像の保護、切り抜き、プリントするときに便利な設定など、撮影した画像に対する設定ができます。

2 ▲/▼ボタンでメニュー項目を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

3 ▲/▼ボタンで設定内容を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- メニュー項目によっては、設定が表示されないものや、表示のされ方が異なるものがあります。

■ メニューを終了する

[Q.MENU/↩] ボタンを押す、またはシャッターボタンを半押しする

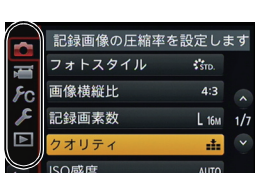
■ 他のメニューに切り換えるには

例)撮影メニューからセットアップメニューへの切り換え

1 ◀ ボタンを押す

2 ▲/▼ボタンで [🔧] などのメニュー切り換えアイコンを選ぶ

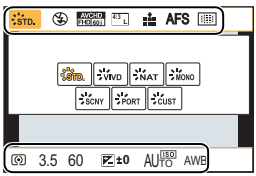
3 [MENU/SET] ボタンを押す



よく使うメニューをすぐに呼び出す(クイックメニュー)

クイックメニューを使うと、一部のメニューを簡単に呼び出すことができます。

1 [Q.MENU/↩]ボタンを押して、クイックメニューを表示する
2 コントロールダイヤルを回してメニュー項目を選び、▲ボタンまたは▼ボタンを押す
3 コントロールダイヤルを回して設定内容を選ぶ
4 設定が終了したら[Q.MENU/↩]ボタンを押してメニューを終了する
- シャッターボタン半押しでも終了できます。



- カスタムメニューの[Q.MENU]を[カスタム]に設定時は、クイックメニューをお好みで変更できます。

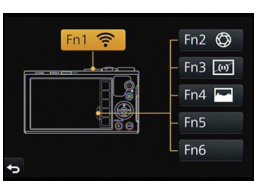
よく使う機能をボタンに割り当てる(ファンクションボタン)

特定のボタンやアイコンに、撮影機能などを割り当てることができます。

1 メニューを設定する(P14)

MENUボタン→ƒC[カスタム]→[Fnボタン設定]

2 ▲/▼ボタンで機能を割り当てたいファンクションボタンを選び、[MENU/SET]ボタンを押す
3 ▲/▼ボタンで割り当てる機能を選び、[MENU/SET]ボタンを押す
- ファンクションボタンによっては、割り当てられない機能があります。



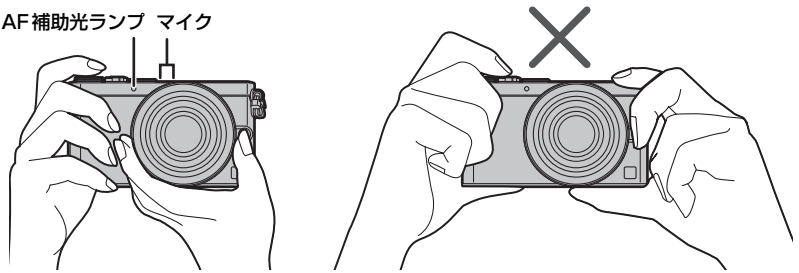
撮影メニュー/撮影機能	
– Wi-Fi(P49):[Fn1]※	– ISO感度
– AF/AE LOCK	– 測光モード
– AF-ON	– iDレンジコントロール
– ワンプッシュAE	– 超解像
– タッチAE	– HDR
– プレビュー(P28):[Fn2]※	– シャッター方式
– 水準器表示:[Fn3]※	– フラッシュモード
– ズーム操作	– フラッシュ光量調整
– フォトスタイル	– EXテレコン(写真・動画)
– 画像横縦比	– デジタルズーム
– 記録画素数	– 手ブレ補正
– クオリティ	– デフォルトに戻す
動画撮影メニュー	
– 動画記録方式/画質設定	– 写真撮影
カスタムメニュー	
– サイレントモード	– ガイドライン表示
– AFS/AFF	– 記録枠表示
– ピーキング	– ステップズーム
– ヒストグラム表示:[Fn4]※	– ズーム速度

※お買い上げ時のファンクションボタン設定
([Fn5]、[Fn6]はお買い上げ時にファンクションボタン設定されていません)

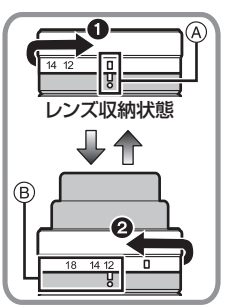
本機の構え方について

両手で本機を軽く持ち、脇を締め、肩幅くらいに足を開いて構える

- **フラッシュ発光部やAF補助光ランプ、マイクを指などで塞がないでください。**
- シャッターボタンを押す瞬間に、カメラが動かないようにお気をつけください。
- 撮影の際は、必ずレンズキャップを外してください。



■ 交換レンズ(H-FS12032)装着時は以下の点にお気をつけください



撮影の準備

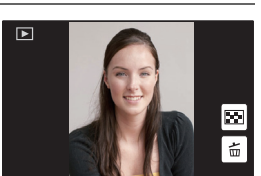
- レンズ収納状態(Ⓐの位置)から、ズームリングを矢印❶の方向に回し、Ⓑの位置(12 mm～32 mm)にしてレンズを繰り出す。
  – レンズ鏡筒が収納されている状態では、撮影することができません

レンズの収納

- Ⓑの位置(12 mm～32 mm)から、ズームリングを矢印❷の方向に回し、Ⓐの位置に合わせて収納する。
  – 撮影しないときは収納状態にしておくことをお勧めします

構えた向きを検出する(縦位置検出機能)

本機を縦に構えて撮影したとき、構えた向きを検出できる機能です。
再生時に自動で縦向きに表示することができます。([縦位置自動回転] を [ON] に設定している場合のみ)

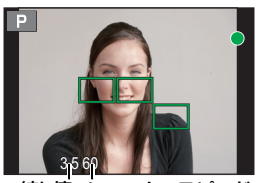


写真を撮る

●▼(🔁 ⏲)ボタンを押して、ドライブモードを [□] (単写)に設定する。

1 撮影モードを選ぶ(P19)

2 シャッターボタンを半押し(軽く押す)してピントを合わせる



絞り値　シャッタースピード

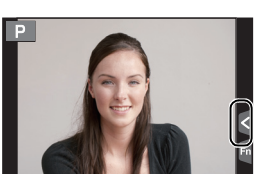
- 絞り値とシャッタースピードが表示されます。(フラッシュ発光時を除き、適正露出にならないときは、赤くなり点滅します)
- **お買い上げ時は、[フォーカス/レリーズ優先]が[フォーカス]に設定されているため、ピントが合うまで撮影できません。**

3 シャッターボタンを全押し(さらに押し込む)して撮影する

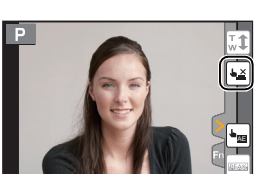
タッチシャッター機能を使って撮る

ピントを合わせたい被写体にタッチするだけで、ピントを合わせて自動的にシャッターを切ります。

1 [◁]をタッチする



2 [👆×]をタッチする



- アイコンが[👆]に変わり、タッチシャッター撮影が可能な状態になります。

3 ピントを合わせたい被写体をタッチする

- ピントが合うと撮影されます。

■ タッチシャッター機能を解除するには

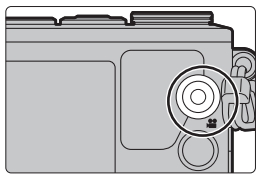
[👆]をタッチする

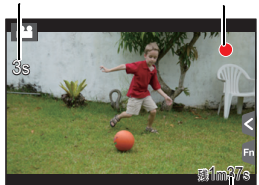
動画を撮る

AVCHD規格に準拠したフルハイビジョン映像や、MP4で記録される動画を撮影できます。
音声はステレオで記録されます。

1 動画ボタンを押して撮影を開始する

- 各撮影モードに適した動画が撮影できます。
- 動画の記録中は、記録動作表示(赤)が点滅します。
- 約1分以上何も操作しないと、画面上の情報が一部表示されなくなります。[DISP.]ボタンを押したり、モニターをタッチすると再度表示されます。
- 動画ボタンを押したあと、すぐに離してください。





2 もう一度動画ボタンを押して撮影を終了する

- 動画撮影中にシャッターボタンを全押しすると、動画撮影中に写真撮影もできます。
- 周囲の温度が高いときや連続で動画撮影を行ったときなど、本機の温度が上昇すると、[⚠]が点滅します。[⚠]が点滅したあと、メッセージが表示されると、本機を保護するために電源が自動的に切れます。電源が切れた場合、本機の温度が下がるまで一部の機能が制限されます。

■ フォーマット、サイズ、記録フレームレートを設定する

メニューを設定する(P14)

MENU ボタン→ [動画]→[記録方式]

項目	フォーマット
AVCHD	ハイビジョンテレビなどで再生する場合に適したデータ形式です。
MP4	パソコンなどで再生する場合に適したデータ形式です。

MENU ボタン→ [動画]→[画質設定]

- [AVCHD]を選んだ場合

項目	サイズ	記録フレームレート	センサー出力	ビットレート
FHD/60i	1920×1080	60i	60コマ/秒	17 Mbps
FHD/30p	1920×1080	60i	30コマ/秒	24 Mbps
FHD/24p	1920×1080	24p	24コマ/秒	24 Mbps
HD/60p	1280×720	60p	60コマ/秒	17 Mbps

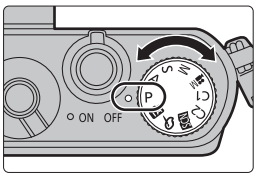
- [MP4]を選んだ場合

項目	サイズ	記録フレームレート	センサー出力	ビットレート
FHD/30p	1920×1080	30p	30コマ/秒	20 Mbps
HD/30p	1280×720	30p	30コマ/秒	10 Mbps
VGA/30p	640×480	30p	30コマ/秒	4 Mbps

撮影モードを選ぶ

モードダイヤルを切り換える

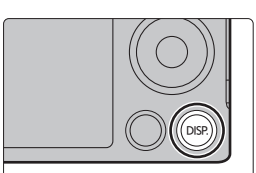
- モードダイヤルはゆっくり回して確実に各モードに合わせてください。



iA インテリジェントオートモード(P23)	カメラにおまかせで撮影します。
iA+ インテリジェントオートプラスモード(P24)	インテリジェントオートモードで明るさと色合いを変更できます。
P プログラムAEモード(P26)	カメラが決めた絞り値とシャッタースピードで撮影します。
A 絞り優先AEモード(P27)	絞り値を決めて撮影します。
S シャッター優先AEモード(P27)	シャッタースピードを決めて撮影します。
M マニュアル露出モード(P27)	絞り値とシャッタースピードを決めて撮影します。
M クリエイティブ動画モード	絞り値やシャッタースピードを決めて動画を撮影します。 ※写真撮影はできません。
C1 C2 カスタムモード(P30)	あらかじめ登録しておいた設定で撮影します。
SCN シーンガイドモード(P29)	撮影シーンに合わせて撮影します。
クリエイティブコントロールモード(P29)	画像効果を確認しながら撮影します。

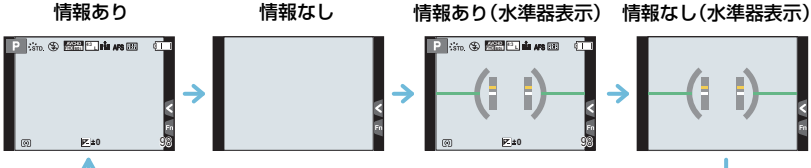
撮影画面の表示情報を切り換える

[DISP.] ボタンを押して切り換える



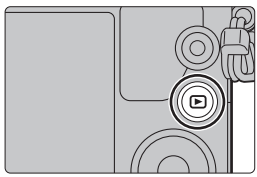
- 画面は以下のように切り換わります。

情報あり　情報なし　情報あり(水準器表示)　情報なし(水準器表示)



- 約1分以上何も操作しないと、画面上の情報が一部表示されなくなります。[DISP.] ボタンを押したり、モニターをタッチすると再度表示されます。

写真を見る



1 [▶]ボタンを押す

2 ◀ ボタンまたは ▶ ボタンを押す

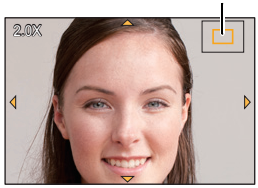
◀:前の画像へ　▶:次の画像へ

再生画面を拡大する(再生ズーム)

コントロールダイヤルを右側に回す

1倍⇨2倍⇨4倍⇨8倍⇨16倍

ズーム位置表示



- 拡大したあと、コントロールダイヤルを左側に回すと、倍率が小さくなります。
- ▲/▼/◀/▶ ボタンを押す、または画面をドラッグ(P9)すると、拡大部分を移動することができます。
- 拡大したい部分を2回タッチしても画像を拡大(2倍)することができます。拡大時に2回タッチすると1倍に戻ります。

複数の画像を一覧表示する(マルチ再生)

コントロールダイヤルを左側に回す

1画面⇨12画面⇨30画面⇨カレンダー画面表示

- コントロールダイヤルを右側に回すと、1つ前に戻ります。
- 以下のアイコンをタッチすると、再生画面を切り換えることができます。
  - ·[▪]:1画面　·[▪▪▪]:12画面
  - ·[▪▪▪▪▪▪]:30画面　·[CAL]:カレンダー再生
- 画面を上下にドラッグすると少しずつ画像を切り換えることができます。

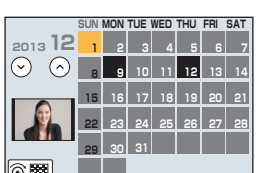
画像を撮影日ごとに表示する(カレンダー再生)

1 コントロールダイヤルを左側に回して、カレンダー画面表示にする

2 ▲/▼/◀/▶ ボタンで再生する日付を選ぶ

3 [MENU/SET]ボタンを押して、選択した日付に撮影された画像を表示する

4 ▲/▼/◀/▶ ボタンで画像を選び、[MENU/SET]ボタンを押す



動画を見る

本機で再生できる動画のファイル形式は AVCHD、MP4 または QuickTime Motion JPEG です。

- 動画には動画アイコン([🎥])が表示されます。

動画記録時間

▲ボタンを押して再生する

- 再生を開始すると、画面に再生経過時間が表示されます。

■ 動画再生中の操作

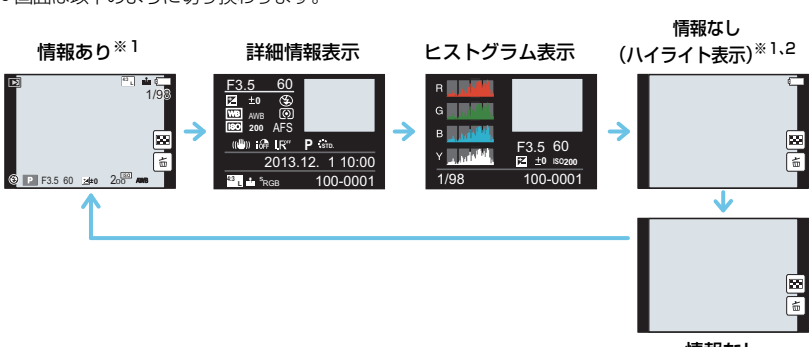
ボタン操作	タッチ操作	操作内容
▲	▶/❚❚	再生/一時停止
◀	◀◀	早戻し再生
	◀❚❚	コマ戻し(一時停止中)
	−	音量下げる

ボタン操作	タッチ操作	操作内容
▼	■	停止
▶	▶▶	早送り再生
	❚❚▶	コマ送り(一時停止中)
	+	音量上げる

再生画面の表示情報を切り換える

[DISP.]ボタンを押して切り換える

- 画面は以下のように切り換わります。



※1 約1分以上何も操作しないと、画面上の情報が一部表示されなくなります。[DISP.]ボタンを押したり、モニターをタッチすると再度表示されます。

※2 カスタムメニューの[ハイライト表示]を[ON]にしているときのみ表示されます。

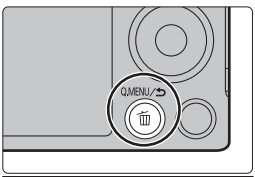
画像を消去する

画像は一度消去すると元に戻すことができません。

1枚消去

1 再生状態で消去する画像を選び、[🗑] ボタンを押す

- [🗑]をタッチしても同じ操作ができます。



2 ▲ボタンで[1枚消去]を選び、[MENU/SET]ボタンを押す

- 確認画面が表示されます。[はい]を選ぶと消去されます。

複数消去(100枚※まで)/全画像消去

※グループ画像は1枚として扱います。(選んだグループ画像内のすべての画像が消去されます)

1 再生状態で [🗑] ボタンを押す

2 ▲/▼ボタンで[複数消去]または[全画像消去]を選び、[MENU/SET]ボタンを押す

- [全画像消去]→確認画面が表示されます。[はい]を選ぶと消去されます。
- [全画像消去]選択時、[お気に入り以外全消去]を選択すると、お気に入り設定した画像以外の全画像を消去することができます。

3 ([複数消去]選択時)▲/▼/◀/▶ボタンで画像を選び、[MENU/SET]ボタンで設定する(繰り返す)

- 設定した画像に[🗑]が表示されます。
  もう一度[MENU/SET]ボタンを押すと設定が解除されます。

4 ([複数消去]選択時)◀ボタンを押して[実行]を選び、[MENU/SET]ボタンを押す

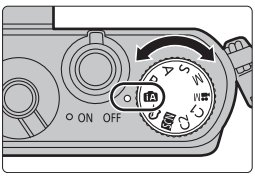
- 確認画面が表示されます。[はい]を選ぶと消去されます。

カメラにおまかせで撮る(インテリジェントオートモード)

撮影モード: iA iA+

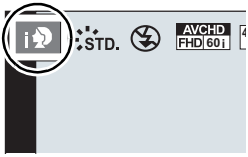
被写体や撮影状況に合わせてカメラが最適な設定を行うので、カメラにおまかせで気軽に撮りたいときにお勧めです。

1 モードダイヤルを[iA]に合わせる



- インテリジェントオートプラスモードまたはインテリジェントオートモードのどちらか最後に使用していたモードに切り換わります。お買い上げ時は、インテリジェントオートプラスモードが設定されています。

2 被写体に画面を合わせる



- カメラが最適なシーンを判別すると、各シーンのアイコンが2秒間青色で表示後、通常の赤色に変わります。(自動シーン判別)
- 被写体をタッチすると追尾 AF 機能が働きます。
  カーソルボタンの◀を押し、シャッターボタンを半押ししても可能です。

■ 自動で働く機能について

- カメラが最適な設定を行うため、以下の機能が自動で働きます。
  – 自動シーン判別/逆光補正/顔認識/オートホワイトバランス/インテリジェントISO/デジタル赤目補正/超解像/iDレンジコントロール/長秒ノイズ除去/シェーディング補正/クイックAF/AF補助光

■ 自動シーン判別について

写真撮影時

i 人物	i 風景	i マクロ	i 夜景&人物※1
i 夜景	i手持ち夜景※2	i 料理	i 赤ちゃん※3
i 夕焼け			

※1 内蔵フラッシュを開いている場合のみ表示されます。
※2 [i手持ち夜景]を[ON]に設定したときのみ表示されます。(P24)
※3 [個人認証]を[ON]に設定時、顔登録の誕生日が設定済みで、年齢が3歳未満の人物を顔認識したときのみ表示されます。

動画撮影時

i 人物	i 風景	i ローライト	i マクロ

■ フラッシュ

フラッシュを閉じているときは[⊘]に、開いているときは[ϟA](オート)に設定されます。
フラッシュを開いているときは、被写体の種類や明るさに合わせて、カメラが自動で[ϟA]、[ϟ👁](赤目軽減オート)、[ϟS]または[ϟS]に設定します。

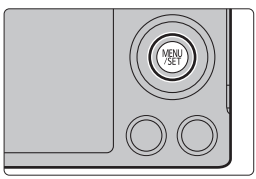
● フラッシュを使うときは、フラッシュを開いてください。(P46)

インテリジェントオートプラスモードとインテリジェントオートモードについて

インテリジェントオートモードは主要な機能が自動設定されるので、難しい設定は不要で撮影できます。よりお好みに合わせた設定にしたい場合は、インテリジェントオートプラスモードをお使いください。

■ インテリジェントオートプラスモードとインテリジェントオートモードを切り換えるには

1 [MENU/SET]ボタンを押す



2 ◀ボタンを押す

3 ▲/▼ボタンで [iA+] または [iA] タブを選ぶ

4 ◀/▶ ボタンで [iA+] または [iA] を選び、[MENU/SET]ボタンを押す

手持ちで夜景を撮る(i手持ち夜景)

撮影モード: iA iA+

[i手持ち夜景]を[ON]に設定すると、手持ち撮影で夜景を撮影中に[ ]と判別された場合、夜景を高速連写で撮影し1枚の写真に合成します。三脚を使わずに手ブレとノイズの少ないきれいな夜景を撮影したいときに効果的です。

MENU ボタン→ [撮影]→[i手持ち夜景]→[ON]/[OFF]

階調豊かな写真に合成する(iHDR)

撮影モード: iA iA+

[iHDR]を[ON]に設定すると、背景と被写体の明暗差が大きい場合などに、露出の異なる写真を複数枚撮影して1枚の階調豊かな写真に合成します。
[iHDR]は必要に応じて働きます。働くときは、画面に[HDR]が表示されます。

MENU ボタン→ [撮影]→[iHDR]→[ON]/[OFF]

背景をぼかして撮る（ボケ味コントロール）

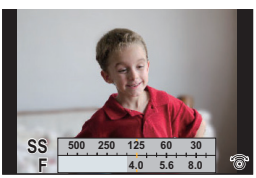
撮影モード： iA iA+

背景のボケ具合を画面で確認しながら簡単に設定することができます。

1 **▲ ボタンを押して設定画面を表示する**

- インテリジェントオートプラスモード時は、▲ボタンを押すごとに、明るさ設定操作、ボケ味コントロール操作、操作の終了に切り換わります。
- インテリジェントオートモード時は、▲ボタンを押すごとに、ボケ味コントロール操作と操作の終了が切り換わります。

2 **コントロールダイヤルを回してボケ具合を設定する**



明るさや色合いを変えて撮る

撮影モード： iA+

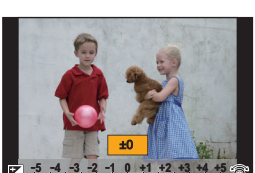
カメラが設定した明るさや色合いを、お好みに調整できます。

明るさを設定する

1 **▲ ボタンを押して設定画面を表示する**

- ▲ボタンを押すごとに、明るさ設定操作、ボケ味コントロール操作、操作の終了に切り換わります。

2 **コントロールダイヤルを回して明るさを調整する**

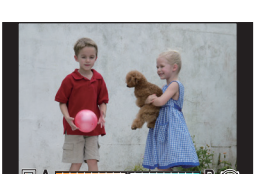


色合いを設定する

1 **▶ ボタンを押して設定画面を表示する**

2 **コントロールダイヤルを回して色合いを調整する**

- 画像の色合いを赤っぽい色から青っぽい色まで調整します。
- [MENU/SET]ボタンを押すと撮影画面に戻ります。



お好みの設定で撮る(プログラム AE モード)

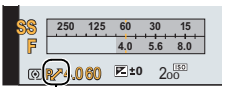
撮影モード: P

被写体の明るさに応じて、シャッタースピードと絞り値をカメラが自動的に設定します。
撮影メニューで多彩な設定をすることで、自由度の高い撮影ができます。

1 モードダイヤルを[P]に合わせる

2 シャッターボタンを半押しして、画面に絞り値とシャッタースピードの数値を表示させる

3 数値が表示されている間に(約10秒間)、コントロールダイヤルを回してプログラムシフトする



プログラムシフト表示

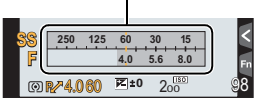
- 数値の表示中は、カーソルボタンの▲を押すごとに、プログラムシフト操作と露出補正操作が切り換わります。
- プログラムシフトを解除するには、電源スイッチを[OFF]にするか、プログラムシフト表示が消えるまで、コントロールダイヤルを回してください。

露出メーターを表示する/しない

MENU ボタン→ C[カスタム]→[露出メーター]→[ON]/[OFF]

- [ON]に設定すると、露出補正、プログラムシフト、絞り設定、またはシャッタースピード操作時に露出メーターが表示されます。
- 適正でない範囲が、赤色で表示されます。
- 露出メーターが表示されないときは、[DISP.]ボタンを押して画面の表示情報を切り換えてください。
- 約4秒間何も操作しないと露出メーターが消灯します。

露出メーター



- シャッターボタンを半押ししたときに、適正露出でない場合は、絞り値とシャッタースピードが赤色で表示され、点滅します。

プログラムシフトについて

プログラムAEで本機が自動的に設定したシャッタースピードと絞り値の組み合わせを、同じ露出のままで変えることができます。これをプログラムシフトといいます。
プログラムAEでの撮影時に、より背景をぼかしたい(絞り値を小さくする)、動きを表現したい(シャッタースピードを遅くする)などの設定が可能です。

絞り/シャッタースピードを決めて撮る

撮影モード: A S M

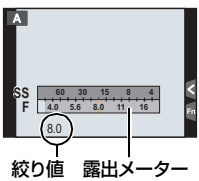
A: 絞り優先AE モード

背景までピントを合わせて撮りたいときは絞り値を大きく、背景をぼかして撮りたいときは絞り値を小さくしてください。

1 モードダイヤルを [A] に合わせる

2 コントロールダイヤルを回して絞り値を設定する

- カーソルボタンの▲を押すごとに、絞り値設定操作と露出補正操作が切り換わります。
- 設定した絞り値の効果は、撮影画面に反映されません。撮影画面で確認するには、[プレビューモード]をお使いください。(P28)



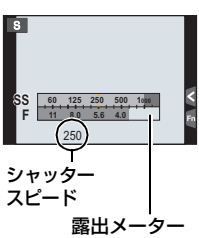
S: シャッター優先AE モード

動きを止めて撮りたいときはシャッタースピードを速く、動きを表現したいときにはシャッタースピードを遅くしてください。

1 モードダイヤルを [S] に合わせる

2 コントロールダイヤルを回してシャッタースピードを設定する

- カーソルボタンの▲を押すごとに、シャッタースピード設定操作と露出補正操作が切り換わります。
- 設定したシャッタースピードの効果は、撮影画面に反映されません。撮影画面で確認するには、[プレビューモード]をお使いください。(P28)



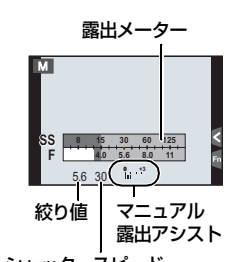
M: マニュアル露出モード

絞り値とシャッタースピードを手動で設定して、露出を決定します。
露出の状態の目安を示す、マニュアル露出アシストが画面下部に表示されます。

1 モードダイヤルを [M] に合わせる

2 コントロールダイヤルを回して絞り値とシャッタースピードを設定する

- カーソルボタンの▲を押すごとに、絞り値設定操作とシャッタースピード設定操作が切り換わります。



■ マニュアル露出アシストについて

±0	適正露出になります。
0 +3	シャッタースピードを速くするか、絞り値を大きくしてください。
−3 0	シャッタースピードを遅くするか、絞り値を小さくしてください。

■ 常時プレビューについて

マニュアル露出モードでは、カスタムメニューの[常時プレビュー(Mモード)]を[ON]に設定すると、撮影画面で絞り効果、シャッタースピード効果の確認ができます。

- フラッシュを閉じてください。
- マニュアル露出モードでのみ使えます。

絞り効果/シャッタースピード効果を確認する(プレビューモード)

使えるモード： iA iA+ P A S M M C1 C2 SCN

- **絞り効果の確認**：実際に撮影される絞り値までレンズの絞り羽根を物理的に絞り込むことにより、被写界深度(ピントの合っている範囲)を確認することができます。
- **シャッタースピード効果の確認**：実際に撮影されるシャッタースピードでの画面を表示し、動きを確認することができます。シャッタースピードを速く設定すると、画面表示がコマ落としのように表示されます。水の流れなど、動きを止めて撮影したいときに確認してください。

1 ファンクションボタンに [プレビュー] を設定する(P15)

- 次の手順は、[Fn2]に[プレビュー]を設定した場合の例です。

2 [Fn] をタッチする

3 [Fn2] をタッチして確認画面を切り換える

- [Fn2]をタッチするごとに画面が切り換わります。

通常撮影画面 → 絞り効果確認画面（背景のボケ具合の確認） → シャッタースピード効果確認画面（動きの確認）

被写界深度の性質

撮影条件	絞り値	小さい	大きい
	レンズの焦点距離	望遠	広角
	被写体までの距離	近い	遠い
被写界深度（ピントの合っている範囲）		浅い(狭い) 例：背景をぼかして撮りたいときなど	深い(広い) 例：背景までピントを合わせて撮りたいときなど

撮影シーンに合わせて撮る(シーンガイドモード)

撮影モード: SCN

作例写真を見ながら、被写体や撮影状況に合わせてシーンを選択すると、カメラが最適な露出や色調、ピントの合わせ方などを設定し、シーンに合った撮影ができます。

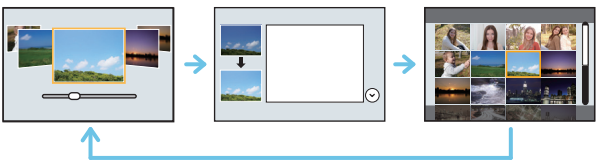
1 **モードダイヤルを [SCN] に合わせる**

2 **◀/▶ ボタンでシーンを選ぶ**
- 作例写真やスライドバーをドラッグすることでも、シーンを選ぶことができます。

3 **[MENU/SET] ボタンを押して決定する**

■ シーンを選ぶ画面表示を切り換えるには

[DISP.] ボタンを押して切り換える



画像効果を変えて撮る(クリエイティブコントロールモード)

撮影モード:

画像に効果を加えて撮影することができます。画像に加える効果は作例写真から選ぶことができ、画面で確認しながら設定できます。

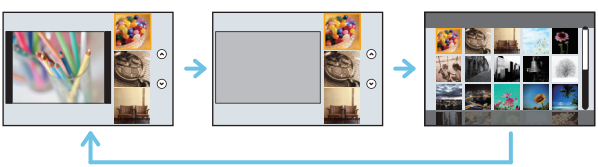
1 **モードダイヤルを [ ] に合わせる**

2 **▲/▼ ボタンで画像効果(フィルター)を選ぶ**
- 選んだ作例写真の画像効果が、プレビュー表示に反映されます。
- 作例写真をタッチして選ぶこともできます。

3 **[MENU/SET] ボタンを押して決定する**

■ 画像効果(フィルター)を選ぶ画面表示を切り換えるには

[DISP.] ボタンを押して切り換える



お好みの設定を登録して撮る(カスタムモード)

撮影モード: C1 C2

現在のカメラの設定内容をカスタムセットとして登録しておくことができます。カスタムモードで撮影すると、登録したときと同じ設定で撮影することができます。

- お買い上げ時、カスタムセットにはプログラムAEモードの初期設定が登録されています。

お好みのメニュー設定を登録する(カスタムセット登録)

同じ設定で撮影できるように、現在のカメラの設定内容を[カスタムセット登録]で4つまで登録しておくことができます。(C1、C2-1、C2-2、C2-3)

準備:あらかじめ保存したい状態の撮影モードに設定し、本機でメニュー設定する。

1 メニューを設定する(P14)

MENU ボタン→ [カスタム]→[カスタムセット登録]

2 ▲/▼ボタンで登録したいカスタムセットを選び、[MENU/SET]ボタンを押す

- 確認画面が表示されます。[はい]を選ぶと実行されます。
  実行後はメニューを終了してください。

登録したカスタムセットで撮る

[カスタムセット登録]で登録した設定を、簡単に呼び出すことができます。

モードダイヤルを[C1]に合わせる

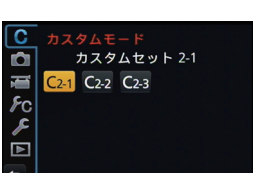
- [C1]に登録されたカスタムセットが呼び出されます。

1 モードダイヤルを[C2]に合わせる

- [C2-1]、[C2-2]または[C2-3]に登録されたカスタムセットが呼び出されます。
  最後に使ったカスタムセットが呼び出されます。
- カスタムセットを変更するときは、
  →手順 2、3 へ

2 [MENU/SET]ボタンを押して、メニューを表示する

3 ◀/▶ボタンで使いたいカスタムセットを選び、[MENU/SET]ボタンを押す



■ 設定を変更した場合は

モードダイヤルをC1またはC2に合わせた状態で一時的にメニュー設定を変更しても、登録内容は変更されません。登録内容を変更する場合は、カスタムメニューの[カスタムセット登録]で登録内容を上書きしてください。

効果をつけて画質を調整する(フォトスタイル)

使えるモード： iA iA+ P A S M C1 C2 SCN

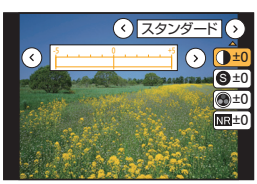
撮影したいイメージに合わせて、6種類の効果を選択することができます。お好みに合わせて効果の色や画質を調整することができます。

MENU ボタン→📷[撮影]→[フォトスタイル]

STD.[スタンダード]	標準的な設定
VIVD[ヴィヴィッド]※1	彩度高め、コントラスト高めの鮮やかな効果
NAT[ナチュラル]※1	コントラスト低めの柔らかな効果
MONO[モノクローム]	色味を抜いた単色の効果
SCNY[風景]※1	青空や緑を鮮やかにし、風景撮影に適した効果
PORT[人物]※1	健康的できれいな肌色にし、人物撮影に適した効果
CUST[カスタム]※1	あらかじめ登録している設定を使用

※1 インテリジェントオートプラスモード時は設定できません。

■ 画質調整する



- インテリジェントオートプラスモード時は画質調整することはできません。

1 **◄/► ボタンでフォトスタイルの種類を選ぶ**

2 **▲/▼ ボタンで項目を選び、◄/► ボタンで調整する**

コントラスト	+	画像の明暗差を大きくします。
	−	画像の明暗差を小さくします。
シャープネス	+	画像の輪郭を強調します。
	−	画像の輪郭を柔らかくします。
彩度	+	派手で鮮やかな色になります。
	−	落ち着いた色になります。
NR ノイズリダクション	+	ノイズリダクションの効果を強め、ノイズを軽減します。解像感が僅かに低下する場合があります。
	−	ノイズリダクションの効果を弱め、より解像感のある画質を得ることができます。
フィルター効果※2	黄	被写体のコントラストを強調します。(効果:弱) 青空をくっきりと撮影できます。
	オレンジ	被写体のコントラストを強調します。(効果:中) 青空を色濃く撮影できます。
	赤	被写体のコントラストを強調します。(効果:強) 青空をさらに色濃く撮影できます。
	緑	人物の肌や唇を落ち着いた色にします。緑の葉を明るくし、強調します。
	OFF	−

※2 [モノクローム]選択時のみ表示されます。

- 画質調整すると、フォトスタイルアイコンに[+]が表示されます。
- [モノクローム]選択時は[彩度]で色調を変更できます。

3 **[MENU/SET]ボタンを押す**

ホワイトバランスを調整する

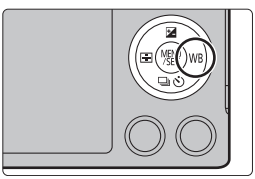
使えるモード： P A S M C1 C2

太陽光や白熱灯下など、白色が赤みがかったり青みがかったりする場面で、光源に合わせて見た目に近い白色に調整します。

AWB	自動調整
☼	晴天の屋外での撮影時
☁	曇りの屋外での撮影時
⌂	屋外の晴天下の日陰での撮影時

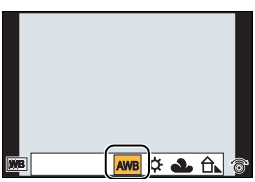
白熱灯下での撮影時	
フラッシュ光のみでの撮影時	
1、2	手動で設定した設定値を使用
K	セットしている色温度設定を使用

1 **▶(WB)ボタンを押す**



2 **コントロールダイヤルを回してホワイトバランスを選ぶ**

3 **[MENU/SET]ボタンを押して決定する**



画質とサイズを設定する

画像の横縦比を選ぶ

使えるモード： P A S M C1 C2

プリントや再生方法に合わせて、画像の横縦比を選択できます。

MENU ボタン→[撮影]→[画像横縦比]

4:3	4:3テレビの横縦比
3:2	一般のフィルムカメラの横縦比
16:9	ハイビジョンテレビなどの横縦比
1:1	正方形横縦比

● プリント時に端が切れることがありますので、事前にご確認ください。

記録画素数を設定する

使えるモード：iA iA+ P A S M C1 C2 SCN

記録画素数を設定します。
画素数が大きいほど、大きな用紙にプリントしても鮮明な画像になります。

MENU ボタン→[撮影]→[記録画素数]

画像横縦比：[4:3]のとき

設定	画像サイズ
L(16M)	4592×3448
EXM(8M)	3232×2424
EXS(4M)	2272×1704

画像横縦比：[3:2]のとき

設定	画像サイズ
L(14M)	4592×3064
EXM(7M)	3232×2160
EXS(3.5M)	2272×1520

画像横縦比：[16:9]のとき

設定	画像サイズ
L(12M)	4592×2584
EXM(6M)	3232×1824
EXS(2M)	1920×1080

画像横縦比：[1:1]のとき

設定	画像サイズ
L(11.5M)	3424×3424
EXM(6M)	2416×2416
EXS(3M)	1712×1712

画像の圧縮率を設定する(クオリティ)

使えるモード：iA iA+ P A S M C1 C2 SCN

画像を保存するときの圧縮率を設定します。

MENU ボタン→[撮影]→[クオリティ]

設定	ファイル形式	設定内容
▲▲▲	JPEG	画質を優先したJPEG画像です。
▲▲		標準画質のJPEG画像です。 画素数を変えずに記録枚数を増やす場合などに便利です。
RAW▲▲▲	RAW+JPEG	RAW画像とJPEG画像([▲▲▲]または[▲▲])を同時に記録できます。※1
RAW▲▲		
RAW	RAW	RAW画像のみを記録できます。※2

※1 本機でRAW画像を消去すると、JPEG画像も同時に消去されます。
※2 各画像横縦比の最大記録画素数([L])に固定されます。

- RAWファイルの現像や編集には、CD-ROM(付属)のソフトウェア(市川ソフトラボラトリー「SILKYPIX Developer Studio」)をお使いください。

自動でピントを合わせて撮る(オートフォーカス)

使えるモード: iA iA+ P A S M M C1 C2 SCN

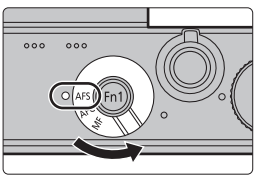
被写体の位置や数に応じて、ピントの合わせ方を選択できます。

(顔認識)	人の顔を自動的に検知します。(最大15個)
(追尾 AF)	被写体が動いても自動でピントと露出を合わせ続けます。
(23点)	最大23点の AFエリアでピントを合わせることができます。 被写体が中央にない場合に有効です。
■ (1点)	中央のAFエリア内にピントを合わせます。
+ (ピンポイント)	[■] より小さな点で繊細なピント合わせができます。

1 フォーカスモードレバーを[AFS]または[AFC]に合わせる

2 ◀( ) ボタンを押す

3 ◀/▶ ボタンでオートフォーカスモードを選び、[MENU/SET] ボタンを押す



- [ ]、[ ]、[■]、[+] を選択時に▼ボタンを押すと、AF エリア設定画面が表示されます。

フォーカスモードについて(AFS、AFF、AFC)

使えるモード: iA iA+ P A S M M C1 C2 SCN

シャッターボタン半押し時のピント合わせ動作を設定します。

フォーカスモード	被写体の動き、撮影シーン(お勧め)	内容
AFS	静止している (風景、記念撮影など)	AFSとは「Auto Focus Single」の略で、シャッターボタンを半押しすると、自動でピント合わせを行います。 半押ししている間、ピントは固定されます。
AFF	動きが予測できない (子ども、ペットなど)	AFFとは「Auto Focus Flexible」の略で、シャッターボタンを半押しすると、自動でピント合わせを行います。 半押ししている間に被写体が動いた場合、動きに合わせて自動でピントを合わせ直します。
AFC	動いている (スポーツ、鉄道など)	AFCとは「Auto Focus Continuous」の略で、シャッターボタンを半押ししている間、被写体の動きに合わせて常にピント合わせを行います。動いている被写体の場合は、撮影時に予測してピント合わせを行います。(動体予測)
MF	手動でピントを合わせます。(P35)	

フォーカスモードレバーの[AFS]に割り当てるフォーカスモードを変更する

MENU ボタン→ [カスタム]→[AFS/AFF]

[AFS]: [AFS] を割り当てます。

[AFF]: [AFF] を割り当てます。

手動でピントを合わせて撮る(マニュアルフォーカス)

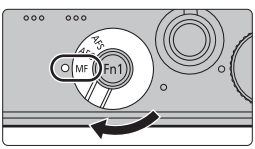
使えるモード: iA iA+ P A S M M C1 C2 SCN

ピントを固定したい場合や、被写体との距離が固定されていて、オートフォーカスを働かせたくない場合などに使います。

手動でピントを合わせる操作は、使用するレンズによって異なります。

フォーカスリングのない交換レンズ(H-FS12032)をお使いの場合

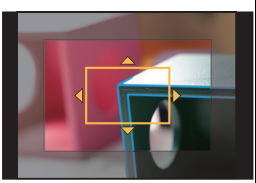
1 **フォーカスモードレバーを [MF] に合わせる**



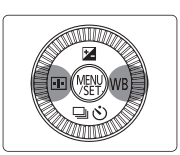
2 **◀( ) ボタンを押す**

3 **▲/▼/◀/▶ ボタンでMFエリアを移動し、[MENU/SET] ボタンを押す**

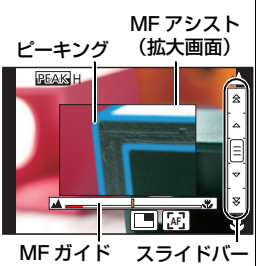
- 画面をドラッグしてもMFエリアを移動できます。
- [DISP.] ボタンを押すとMFエリアは中央に戻ります。



4 **◀/▶ ボタンでピントを合わせる**



- ◀/▶ ボタンを押したままにすると、ピント調整の速度が速くなります。
- スライドバーをドラッグすることでも、ピント合わせができます。
- コントロールダイヤルを回すと、MFアシストを拡大/縮小します。
- カスタムメニューの[ピーキング]を[ON]に設定時は、ピントが合っている部分に色が付いて表示されます。
- ▼ボタンを押すと、MFエリアの設定画面に切り換えることができます。

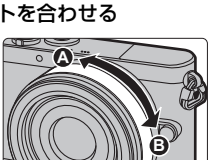


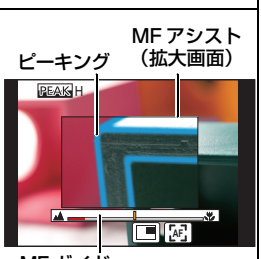
フォーカスリングのある交換レンズをお使いの場合

1 **フォーカスモードレバーを [MF] に合わせる**

2 **フォーカスリングを回してピントを合わせる**

Ⓐ **側に回す**:
近くにピントを合わせる
Ⓑ **側に回す**:
遠くにピントを合わせる





- フォーカスレバーのある交換レンズをお使いの場合は、フォーカスレバーを動かしてピントを合わせてください。

■ MF アシストを表示する

- フォーカスリングを回す、または画面をピンチアウトや2回タッチすると表示されます。(クリエイティブコントロールモードの[ジオラマ]では、画面のタッチによる表示ができません)
- カーソルボタンの◀を押してMFエリアの設定画面を表示させたあと、カーソルボタンでMFエリアの位置を決めて [MENU/SET]ボタンを押しても表示できます。

■ MF アシストを終了する

- シャッターボタンを半押しすると終了します。
- [MENU/SET]ボタンを押す、または[終了]をタッチしても終了します。
- 画面を2回タッチしても終了します。
- フォーカスリングを回して表示した場合は、操作をやめると約10秒後に終了します。

MFアシスト(拡大画面)の表示方法を設定する

MENU ボタン→ fc[カスタム]→[MFアシスト]

- 設定項目は、使用するレンズによって異なります。

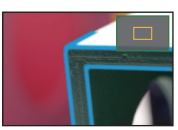
フォーカスリングのない交換レンズ(H-FS12032)装着時	
ON	◀(⊞) ボタンを押したときに、MFエリアの設定画面を表示してから、ピント合わせができます。
OFF	◀(⊞) ボタンを押したときに、MFエリアの設定画面を表示させずに、ピント合わせができます。

フォーカスリングのある交換レンズ装着時	
◎⊞	レンズのフォーカスリングを回す、または ◀(⊞)ボタンを押すと、MFアシストが表示されます。
◎FOCUS	レンズのフォーカスリングを回すと、MFアシストが表示されます。
⊞	◀(⊞)ボタンを押すと、MFアシストが表示されます。
OFF	レンズのフォーカスリングを回しても、MFアシストを表示しません。

MFアシストの表示を変更する

MENU ボタン→ fc[カスタム]→[MFアシスト表示]

[全画面]: 画面全体に拡大表示されます。



[PIP]: 画面の一部に拡大表示されます。

- ピントを合わせる画面で[▣]をタッチしてアシスト画面の表示を切り換えることもできます。
- コントロールダイヤルを回すと、[PIP]のときは約3倍～6倍、[全画面]のときは約3倍～10倍に拡大/縮小できます。1 倍ずつ拡大/縮小します。
- ピンチアウト / ピンチインしても拡大 / 縮小できます。

露出やピントを固定して撮る(AF/AEロック)

使えるモード： P A S M C1 C2 SCN

被写体のコントラストが強すぎて適正露出が得られない場合(AEロック)や、被写体がAFエリアから外れた構図で撮りたい場合(AFロック)などに便利です。

1 ファンクションボタンに[AF/AE LOCK]を設定する(P15)

- [AF/AE LOCK]は[Fn1]ボタンだけに割り当てることができます。

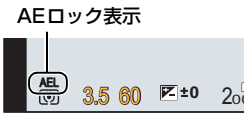
2 被写体に画面を合わせる

3 [Fn1]ボタンを押し、ピントや露出を固定する

- もう一度[Fn1]ボタンを押すと、ロックは解除されます。
- お買い上げ時は、露出のみが固定されます。カスタムメニューの[AF/AEロック切換]で、ピントや露出の固定内容を変えられます。

4 撮りたい構図に本機を動かし、シャッターボタンを全押しする

- [AE LOCK]設定時は、シャッターボタンを半押ししてピントを合わせてから、全押ししてください。

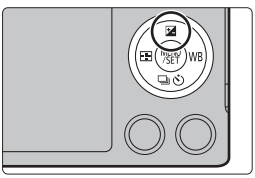


露出を補正して撮る

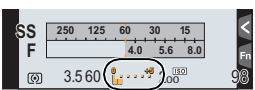
使えるモード： P A S M C1 C2 SCN

被写体と背景の明るさに大きく差がある場合など、適正な露出が得られないときに補正します。

1 ▲(⊡)ボタンを押して露出補正操作に切り換える



2 コントロールダイヤルを回して、露出を補正する



- 露出を補正しない場合は、"0"を選んでください。

ISO感度を設定する

使えるモード： P A S M C1 C2

光に対する感度(ISO感度)を設定できます。数値を高く設定すると、暗い場所でも明るく撮ることができます。

AUTO	明るさに応じて、自動的にISO感度を調整します。
iISO	被写体の動きを検知し、被写体の動きと明るさに応じて最適なISO感度とシャッタースピードをカメラが自動的に設定して、被写体のブレを抑えます。
200 ～ 25600	それぞれのISO感度に固定します。

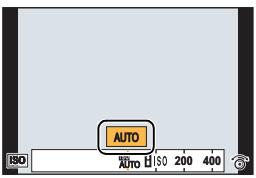
1 **メニューを設定する(P14)**

MENU **ボタン→[撮影]→[ISO感度]**

2 **コントロールダイヤルを回して ISO感度を選ぶ**

3 **[MENU/SET] ボタンを押して決定する**

- 設定後はメニューを終了してください。

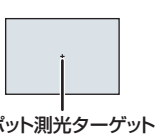


明るさの測り方を選ぶ(測光モード)

使えるモード： P A S M C1 C2

明るさを測る測光方式を切り換えることができます。

MENU **ボタン→[撮影]→[測光モード]**

(マルチ測光)	画面全体の明るさの配分をカメラが自動的に評価して、露出が最適になるように測光する方式です。通常はこの方式に合わせて使用することをお勧めします。
(中央重点測光)	画面中央部の被写体に重点を置いて、画面全体を平均的に測光する方式です。
(スポット測光)	スポット測光ターゲット上の被写体に対して測光する方式です。  スポット測光ターゲット

狙った場所に簡単に明るさを合わせる(タッチAE)

使えるモード： iA iA+ P A S M C1 C2 SCN

タッチした位置に、簡単に明るさを合わせることができます。人物の顔が暗く写るときに、顔に合わせて画面を明るくすることなどができます。

タッチした位置に明るさのみを合わせる

1 [◁]をタッチする

2 [AE]をタッチする

- 明るさを合わせる位置の設定画面が表示されます。
- [測光モード]はタッチAE専用の[AE]に変わります。

3 明るさを合わせたい被写体をタッチする

- [リセット]をタッチすると、明るさを合わせる位置は中央に戻ります。

4 [決定]をタッチする

■ タッチAE機能を解除するには

[AF/AE]をタッチする

- 測光モードが元に戻り、明るさを合わせる位置が解除されます。

タッチした位置に明るさとピントを合わせる

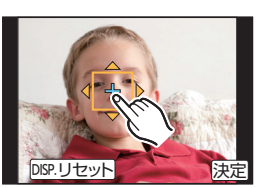
1 メニューを設定する(P14)

MENU ボタン→ [カスタム]→[タッチ設定]

2 [タッチAF]を選び、[AF+AE]をタッチする

3 明るさを合わせたい被写体をタッチする

- AFエリア設定画面が表示されます。
- 明るさを合わせる位置がAFエリアの中央に表示され、AFエリアに合わせて移動します。
- [測光モード]はタッチAE専用の[AE]に変わります。
- [リセット]をタッチすると、明るさを合わせる位置とAFエリアは中央に戻ります。



4 [決定]をタッチする

- タッチした場所に[■]と同じ働きのAFエリアが表示されます。
- [AF/AE]をタッチすると、測光モードが元に戻り、明るさを合わせる位置が解除されます。AFエリアの設定も解除されます。
- [AF/AE]をタッチすると、測光モードが元に戻り、明るさを合わせる位置が解除されます。

シャッター方式を設定する

使えるモード： iA iA+ P A S M M C1 C2 SCN

電子先幕方式と電子シャッター方式の 2 種類のシャッター方式で撮影できます。

	電子先幕方式	電子シャッター方式
仕組み	電子的に露光を開始し、メカシャッターで終了する方式です。	露光の開始と終了を電子的に行う方式です。
フラッシュ	○	×
シャッタースピード	60秒～ 1/500秒	1秒※1 ～ 1/16000秒
シャッター音	メカシャッター音※2+電子シャッター音※3	電子シャッター音※3

※1 ISO感度[ISO3200]まで。[ISO3200]より高いときは、1秒より速くなります。
※2 メカシャッター音を鳴らさないようにすることはできません。
※3 [シャッター音音量]と[シャッター音音色]で、電子シャッター音の設定ができます。

メニューを設定する(P14)

MENU ボタン→ 📷[撮影]→[シャッター方式]

AUTO	撮影状況やシャッタースピードに応じて、シャッター方式が自動で切り換わります。 ● フラッシュ撮影などで機能の制約の少ない、電子先幕方式を優先して使います。
電子先幕	電子先幕方式のみで撮影します。
電子シャッター	電子シャッター方式のみで撮影します。

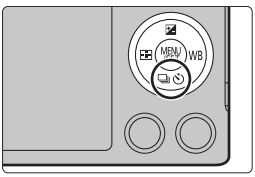
- 画面に[Ⓔ]が表示されている場合は、電子シャッターで撮影されます。
- [連写速度]を[SH]に設定時は、電子シャッターで撮影されます。
- [サイレントモード]を[ON]に設定時は、電子シャッターで撮影されます。
- マイクロフォーサーズマウント規格/フォーサーズマウント規格に非対応のレンズ装着時は、[AUTO]はフラッシュ撮影時などを除き、電子シャッターで撮影されます。また、[電子先幕]は[AUTO] に切り換わります。
  マイクロフォーサーズマウント規格/フォーサーズマウント規格の一部のレンズでも、[AUTO]に切り換わることがあります。対応レンズについては、ホームページをご覧ください。
- **電子シャッターで撮影時は、動いている被写体を撮影すると、被写体が曲がって撮影される場合があります。**
- **電子シャッターで撮影時は、蛍光灯や LED などの照明下では、横しまが撮影されることがあります。このようなときは、シャッタースピードを遅くすると横しまが軽減されることがあります。**
- **本機能のご利用につきましては、被写体のプライバシー、肖像権などに十分ご配慮のうえ、お客様の責任で行ってください。**

単写/連写/オートブラケット/セルフタイマーを選ぶ(ドライブモード)

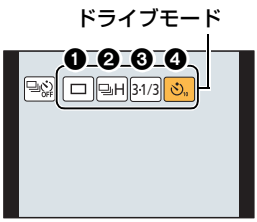
使えるモード: iA iA+ P A S M 動画M C1 C2 SCN

ドライブモードを選ぶことで、連写やセルフタイマーなど、シャッターボタンを押したときの動作を切り換えることができます。

1 ▼(⏲) ボタンを押す



2 ◀/▶ボタンでドライブモードを選び、[MENU/SET]ボタンを押す



❶ 単写	シャッターボタンを押すと1枚だけ撮影します。
❷ 連写	シャッターボタンを押している間、連続して撮影します。
❸ オートブラケット	シャッターボタンを押すごとに、露出の補正幅に従って露出を変えながら撮影します。
❹ セルフタイマー	シャッターボタンを押すと、設定した時間後に撮影します。

●▲ ボタンを押すと、それぞれのドライブモードの設定を変更できます。

■ 連写 / オートブラケット / セルフタイマーを解除するには

ドライブモードから [▭] (単写) または [OFF] を選ぶ

連写する

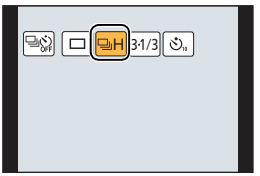
使えるモード： iA iA+ P A S M C1 C2 SCN

シャッターボタンを押している間、連続して撮影します。

- 連写速度を[SH]で撮影した画像は、ひとつの連写グループとして記録されます。

1 **▼(連写/セルフタイマー) ボタンを押す**

2 **◀/▶ ボタンで連写アイコン([連写H]など)を選び、▲ ボタンを押す**



3 **◀/▶ ボタンで連写速度を選び、[MENU/SET]ボタンを押す**

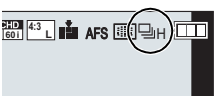
		[SH](超高速)※1	[H](高速)	[M](中速)	[L](低速)
連写速度	電子先幕	40 コマ/秒	5 コマ/秒	4 コマ/秒	2 コマ/秒
	電子シャッター		10 コマ/秒	4 コマ/秒	2 コマ/秒
連写中のライブビュー		なし	なし	あり	あり
連写コマ数	RAWファイルあり	—	7 コマ※2、3		
	RAW ファイルなし	最大39 コマ	カードの空き容量に依存※3		

※1　電子シャッターが働きます。

※2　撮影条件によっては連写コマ数が少なくなる場合があります。(例えば、撮影メニューの[超解像]を設定すると、連写コマ数が少なくなる場合があります)

※3　カードの空き容量がいっぱいになるまで撮影されますが、途中から連写速度が遅くなります。遅くなるタイミングは画像横縦比、記録画素数、クオリティの設定、使用するカードによって異なります。

4 **ピントを合わせて撮影する**



- シャッターボタンを押したままにすると連続撮影されます。
- 周囲の温度が高いときや連続で連写撮影を行ったときなど、本機の温度が上昇すると、[⚠]が点滅します。[⚠]が点滅したあと、メッセージが表示されると、本機を保護するために電源が自動的に切れます。電源が切れた場合、本機の温度が下がるまで一部の機能が制限されます。

■ 連写とピントについて

フォーカスモード	フォーカス/レリーズ優先	ピント合わせ
AFS	フォーカス	1 コマ目
	レリーズ	
AFF/AFC※4	フォーカス	常時ピント※5
	レリーズ	予測ピント※6
MF	—	マニュアルで設定したフォーカス

※4　被写体が暗い場合や連写速度を[SH]に設定時は、ピントは1コマ目に固定されます。

※5　常時ピントを合わせながら連写するので、連写速度は遅くなることがあります。

※6　連写速度を優先し、可能な範囲でピントの予測を行います。

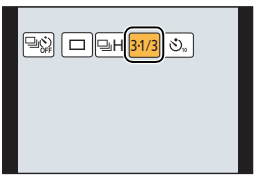
露出を自動的に変えながら撮る(オートブラケット撮影)

使えるモード: P A S M C1 C2

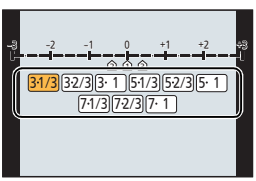
シャッターボタンを押すごとに、露出の補正幅に従って露出を変えながら最大で7枚まで撮影します。

1 ▼(ドライブモード) ボタンを押す

2 ◄/► ボタンでオートブラケットアイコン([3·1/3]など)を選び、▲ ボタンを押す



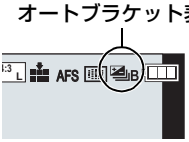
3 ◄/► ボタンで補正幅を選び、[MENU/SET] ボタンを押す



4 ピントを合わせて撮影する

- シャッターボタンを押したままにすると連続撮影されます。
- 設定枚数分がすべて撮影されるまでオートブラケット表示が点滅します。
- 設定枚数分がすべて撮影されるまでにオートブラケットの設定を変更したり、電源スイッチを[OFF]にした場合は、1 枚目からの撮影になります。

オートブラケット表示



■ オートブラケットの単写/連写設定、補正幅、撮影順序を変更する場合

1 メニューを設定する(P14)

MENU ボタン→[撮影]→[オートブラケット]

2 ▲/▼ ボタンで [単写 / 連写設定]、[補正幅] または [ブラケット順序] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

3 ▲/▼ ボタンで設定内容を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- 設定後はメニューを終了してください。

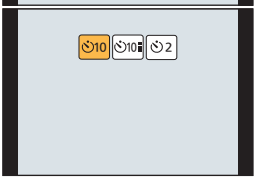
セルフタイマーを使って撮る

使えるモード：iA iA+ P A S M C1 C2 SCN

1 ▼(セルフタイマー) ボタンを押す

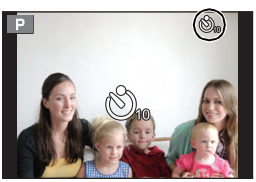
2 ◀/▶ ボタンでセルフタイマーアイコン ([10秒]など)を選び、▲ ボタンを押す

3 ◀/▶ ボタンでセルフタイマーの時間を選び、[MENU/SET]ボタンを押す



10	10秒後に撮影します。
10	10秒後に約2秒間隔で3枚撮影します。
2	2秒後に撮影します。 ● 三脚使用時などシャッターボタンを押したときのカメラブレを防ぐのに便利です。

4 シャッターボタンを半押しして ピントを合わせ、全押しして撮影する



操作音と発光の禁止を一括で設定する(サイレントモード)

使えるモード：iA iA+ P A S M C1 C2 SCN

静かな環境や公共の施設などで撮影するときや、赤ちゃんや動物などの被写体を撮影するときに使うと便利です。

メニューを設定する(P14)

MENU ボタン→ カスタム[カスタム]→[サイレントモード]

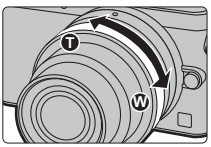
設定：[ON]、[OFF]

- 操作音は消音に、フラッシュや AF 補助光は発光禁止に設定されます。以下の設定が固定されます。
  - –[シャッター方式]:[電子シャッター]
  - –[フラッシュモード]:[発光禁止]
  - –[AF 補助光]:[OFF]
  - –[電子音音量]:[OFF]
  - –[シャッター音音量]:[OFF]
  - –[スピーカー音量]:0

ズームを使って撮る

使えるモード： iA iA+ P A S M 動画M C1 C2 SCN

風景などを広く（広角：W 側）撮ったり人や物を大きく（望遠：T 側）撮ることができます。

	交換レンズの ズームリング	本機の カーソルボタン※1、2
ズームリングのある交換レンズ (H-FS12032)		
	T 側：望遠、大きく撮る **W 側**：広角、広く撮る	▲/▶ ボタン：望遠、大きく撮る ▼/◀ ボタン：広角、広く撮る

※1 カーソルボタンでズーム操作する場合は、カスタムメニューの[Fn ボタン設定]（P15）で[ズーム操作]を設定したファンクションボタンを押してください。もう一度ファンクションボタンを押すか、一定時間が経過するとズーム操作が終了します。

※2 カーソルボタンで操作できるのは、撮影メニューの[EXテレコン（写真）]を [ZOOM]に設定時のみです。

EX テレコン（写真）/EX テレコン（動画）

使えるモード： iA iA+ P A S M 動画M C1 C2 SCN

EXテレコンを使うと、画質を劣化させずにさらに大きく撮ることができます。

写真撮影時	[EX テレコン（写真）]	1.4 倍：[EX M]（[4:3]、[3:2]、[16:9]、[1:1]） 2.0 倍：[EX S]（[4:3]、[3:2]、[16:9]、[1:1]）

● **記録画素数を[M]または[S]（EX付きの記録画素数）に、クオリティを[▲▲]または[▲]に設定してください。**

動画撮影時	[EX テレコン（動画）]	2.4 倍：[FHD/60i]、[FHD/30p]、[FHD/24p] 3.6 倍：[HD/60p]、[HD/30p] 4.8 倍：[VGA/30p]

EXテレコンを段階的に拡大する

MENU ボタン→ [撮影]→[EX テレコン（写真）]→[ZOOM]

● 写真撮影時のみ使えます。

▲/▼/◀/▶ ボタンを使って操作ができます。

EXテレコンを単純に拡大する

MENU ボタン→ [撮影]→[EX テレコン（写真）]→[TELE CONV.]

MENU ボタン→ [動画]→[EX テレコン（動画）]→[ON]

フラッシュを使って撮る

使えるモード： iA iA+ P A S M C1 C2 SCN

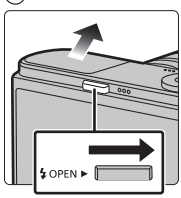
■ 内蔵フラッシュを開く/閉じる

内蔵フラッシュを開くと、フラッシュ撮影が可能になります。

Ⓐ 開くとき

フラッシュOPENレバーをスライドさせる

Ⓐ

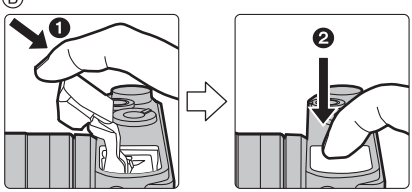


Ⓑ 閉じるとき

フラッシュをカチッと音がするまで押す

- 水平に収納されていることをご確認ください。
- 無理に閉じようとすると故障の原因になります。
- 使わないときは、内蔵フラッシュは必ず閉じておいてください。
- フラッシュを閉じているときは、[⚡]に固定されます。

Ⓑ



フラッシュモードを切り換える

使えるモード： iA iA+ P A S M C1 C2 SCN

撮影内容に合わせて、内蔵フラッシュの発光のしかたを設定できます。

1 **メニューを設定する(P14)**

> MENU ボタン→📷[撮影]→[フラッシュ設定]

2 **▲/▼ ボタンで[フラッシュモード]を選び、[MENU/SET] ボタンを押す**

3 **▲/▼ ボタンで項目を選び、[MENU/SET] ボタンを押す**

⚡ :強制発光 **⚡👁 :赤目軽減強制発光**	フラッシュを強制的に発光させます。 **● 逆光時や蛍光灯などの照明の下に被写体があるときなどに適しています。**
⚡S :スローシンクロ **⚡S👁 :赤目軽減スローシンクロ**	フラッシュ発光とともにシャッタースピードを遅くして背景の夜景なども明るく写します。 **● 夜景を背景に人物を撮影するときなどに適しています。** **● シャッタースピードを遅くすると画像がブレることがあります。三脚の使用をお勧めします。**

動画から写真を作成する

撮影した動画から、1 枚の写真を作成できます。

1 動画再生中に▲ボタンを押して、一時停止にする

2 [MENU/SET] ボタンを押す

- [ ] をタッチしても同じ操作ができます。
- 確認画面が表示されます。[はい] を選ぶと実行されます。

画像を連続再生する(スライドショー)

撮影した画像を音楽に合わせて一定間隔で順番に再生することができます。また、写真のみや、動画のみ、3D写真のみなどをスライドショーで再生することもできます。テレビに接続して画像を見るときにお勧めの再生方法です。

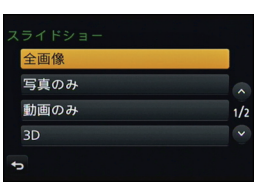
1 メニューを設定する(P14)

MENU ボタン→ [再生]→[スライドショー]

2 ▲/▼ボタンで再生するグループを選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- [カテゴリー選択]時は、▲/▼/◀/▶ボタンでカテゴリーを選び、[MENU/SET] ボタンを押してください。
  カテゴリーの詳細については、48ページをお読みください。

3 ▲ボタンで [開始] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す



■ スライドショーの設定を変更する

[効果]
画像が切り換わる際の画面効果を選ぶことができます。
[おまかせ]、[ナチュラル]、[スロー]、[スウィング]、[アーバン]、[OFF]

[設定]
再生間隔やリピートを設定できます。

再生間隔	**[5 秒]、[3 秒]、[2 秒]、[1 秒]**
リピート	**[ON]、[OFF]**
音設定	**[AUTO]**:写真再生時は音楽を、動画再生時は音声を再生します。 **[音楽]**: 音楽を再生します。 **[音声]**: 音声(動画のみ)を再生します。 **[OFF]**: 音を出しません。

画像を絞り込んで再生する(再生モード)

[通常再生]、[写真のみ]、[動画のみ]、[3D]、[カテゴリー再生]または[お気に入り再生]を選び、再生することができます。

1 **メニューを設定する(P14)**

MENU ボタン→▶[再生]→[再生モード]

2 **▲/▼ボタンで再生するグループを選び、[MENU/SET] ボタンを押す**

上記手順2で[カテゴリー再生]選択時

3 **▲/▼/◀/▶ボタンでカテゴリーを選び、[MENU/SET]ボタンを押す**

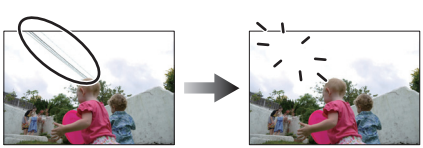
- 分類されるカテゴリーは以下のとおりです。

	個人認証		料理
	人物など		トラベル日付
	風景など		連写
	夜景など		インターバル撮影
	イベント		コマ撮りアニメ

不要な部分を消去する(クリアレタッチ)

撮影した写真に写り込んだ不要な部分を消去することができます。

- 消去操作はタッチでのみ行えます。[クリアレタッチ]では自動的にタッチ操作が可能な状態になります。



1 **メニューを設定する(P14)**

MENU ボタン→▶[再生]→[クリアレタッチ]

2 **◀/▶ボタンで写真を選び、[MENU/SET]ボタンを押す**

3 **消去したい部分をなぞる**

- 消去される部分に色が付きます。
- [1つ戻す]をタッチすると、色が付いた部分が1つ前の状態に戻ります。

4 **[決定]をタッチする**

- プレビュー画面が表示されます。

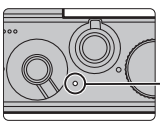
5 **[保存]をタッチする、または[MENU/SET]ボタンを押す**

- 確認画面が表示されます。[はい]を選ぶと実行されます。実行後はメニューを終了してください。

スマートフォン/タブレットとつないで使う

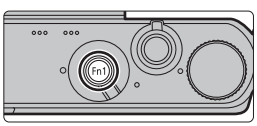
Wi-Fi機能を使ってスマートフォン/タブレットと連携し、カメラで撮影したり、画像を保存したりできます。
お使いのスマートフォン/タブレットに「Panasonic Image App」(以降では「Image App」と表記)をインストールする必要があります。

■ Wi-Fi 接続ランプの表示について



Wi-Fi接続ランプ
青色点灯: Wi-Fi接続の待機中
青色点滅: Wi-Fi接続の送受信中

■ [Wi-Fi] ボタンについて



[Fn1]ボタンは、お買い上げ時は[Wi-Fi]が設定されています。
「Wi-Fi」の章では[Fn1]ボタンを[Wi-Fi]ボタンと記載して説明しています。
● ファンクションボタンについて詳しくは 15 ページをお読みください。

スマートフォン/タブレットアプリ「Image App」をインストールする

「Image App」はパナソニック株式会社が提供するアプリケーションです。

● 対応OS
Android™ : Android 2.2 ～ Android 4.3 ※
iOS : iOS 5.0 ～ iOS 7.0
※ [Wi-Fi Direct]で本機と接続するには、Android OS 4.0 以上で Wi-Fi Direct™に対応している必要があります。

1 **スマートフォン/タブレットをネットワークに接続する**
2 **(Android)「Google Play™ ストア」を選ぶ**
(iOS) 「App Store℠」を選ぶ
3 **検索フィールドに「Panasonic Image App」と入力する**
4 **「Panasonic Image App」 を選び、インストールする**

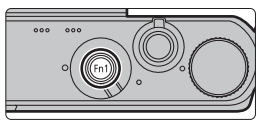
- 最新のバージョンをお使いください。
- お使いのスマートフォン/タブレットによっては、正しく動作しない場合があります。
「Image App」の情報については、下記サポートサイトをご覧ください。
http://panasonic.jp/support/dsc/
- 3G等の携帯電話回線を利用してアプリケーションをダウンロードしたり写真や動画を転送したりする場合、契約内容によっては高額なパケット通信料が発生することがあります。

スマートフォン/タブレットと接続する

[Wi-Fi]ボタンを長めに押すことで、簡単に接続ができます。

準備：

- 「Image App」をインストールしておく（P49）



1 **[Wi-Fi] ボタンを長めに押す**

- スマートフォン/タブレットを本機に直接接続するために必要な情報（SSID、パスワード）が表示されます。
- 初めての接続以外では、前に接続したときの画面が表示されます。
- 以下のメニューを選ぶことで、同じ画面を表示できます。

Wi-Fi ボタン→[新規に接続する]→[スマートフォンとつないで使う]

- 接続方法を切り換えたい場合は、[DISP.]ボタンを押して、接続方法を選んでください。接続方法について詳しくは54 ページの「接続方法を変える」をお読みください。

2 **スマートフォン/タブレットを操作する**

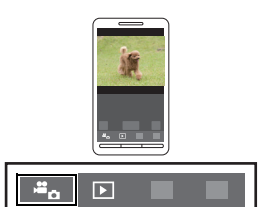
❶ Wi-Fi機能をONにする
❷ 本機の画面に表示されているSSIDと同じものを選び、パスワードを入力する
❸ 「Image App」を起動する（P49）

- 接続が完了すると、スマートフォン/タブレットの画面に本機の画像が表示されます。

スマートフォン/タブレットで撮影する（リモート撮影）

1 **スマートフォン/タブレットと接続する（上記）**

2 **スマートフォン/タブレットの [📷] を選ぶ**



- 撮影した画像はカメラに保存されます。
- 設定など一部利用できないものがあります。
- ご使用になるOSにより、画面が異なる場合があります。
- 周囲の温度が高いときや連続で動画撮影を行ったときなど、本機の温度が上昇すると、[⚠]が点滅します。[⚠]が点滅したあと、メッセージが表示されると、本機を保護するために電源が自動的に切れます。電源が切れた場合、本機の温度が下がるまで一部の機能が制限されます。

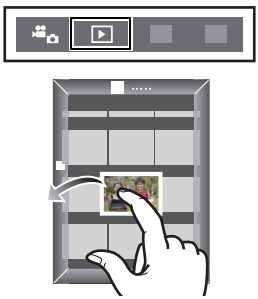
カメラの画像を保存する/SNSへ送信する

1 スマートフォン/タブレットと接続する(P50)

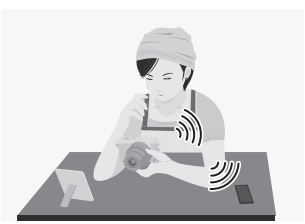
2 スマートフォン/タブレットの[ ]を選ぶ

3 画像を長めにタッチし、ドラッグする

- 保存されたり、SNSなどに送信されたりします。
- お好みに合わせて、上下左右に機能を割り当てることができます。
- 画像をタッチした場合は、画像が大きく再生されます。



カメラを操作してスマートフォン/タブレットに画像を送る



■ 送信方法と送信できる画像

	JPEG	RAW	MP4	AVCHD	3D
撮るたびに画像を送る([撮影中に画像を送る])	○	×	×	×	×
画像を選んで送る([カメラ内の画像を送る])	○	×	○	×	×

- お使いの機器によっては、送信または再生できない場合があります。
- 画像の再生については、送信先機器の説明書をご確認ください。

準備:

- 「Image App」をインストールしておく(P49)

撮るたびに画像を送る（[撮影中に画像を送る]）

1 メニューを設定する

Wi-Fi ボタン→[新規に接続する]→[撮影中に画像を送る]→[スマートフォン]

2 [ネットワーク経由]または[直接接続]を選び、接続する（P54）

スマートフォン/タブレット側

[ネットワーク経由]で接続する場合

❶ Wi-Fi機能をONにする
❷ 無線アクセスポイントを選び、設定する
❸「Image App」を起動する（P49）

[直接接続]の[Wi-Fi Direct]または[WPS 接続]で接続する場合

❶「Image App」を起動する（P49）

[直接接続]の[手動接続]で接続する場合

❶ Wi-Fi機能をONにする
❷ 本機の画面に表示されているSSIDと同じものを選び、パスワードを入力する
❸「Image App」を起動する（P49）

3 接続したい機器を選ぶ

- 接続が完了すると画面が表示されます。画像の送信設定を変更する場合[DISP.]ボタンを押してください。

4 写真を撮る

- 撮影後、自動的に写真が送信されます。
- 設定を変更したり、接続を終わるには、[Wi-Fi]ボタンを押してください。
  写真を送信中は設定を変更することはできません。送信が完了するまでお待ちください。

画像を選んで送る([カメラ内の画像を送る])

1 メニューを設定する

Wi-Fi ボタン→[新規に接続する]→[カメラ内の画像を送る]→[スマートフォン]

2 [ネットワーク経由]または[直接接続]を選び、接続する(P54)

スマートフォン/タブレット側

[ネットワーク経由]で接続する場合

❶ Wi-Fi機能をONにする
❷ 無線アクセスポイントを選び、設定する
❸「Image App」を起動する(P49)

[直接接続]の[Wi-Fi Direct]または[WPS 接続]で接続する場合

❶「Image App」を起動する(P49)

[直接接続]の[手動接続]で接続する場合

❶ Wi-Fi機能をONにする
❷ 本機の画面に表示されているSSIDと同じものを選び、パスワードを入力する
❸「Image App」を起動する(P49)

3 接続したい機器を選ぶ

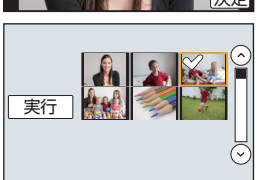
- 接続が完了すると画面が表示されます。画像の送信設定を変更する場合[DISP.]ボタンを押してください。

4 [1枚選択]または[複数選択]を選ぶ

- 設定を変更したり、接続を終わるには、[Wi-Fi]ボタンを押してください。

[1枚選択]選択時

❶画像を選ぶ
❷[決定]を選ぶ



[複数選択]選択時

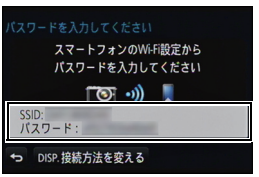
❶画像を選ぶ(繰り返す)
- もう一度選ぶと設定が解除されます。

❷[実行]を選ぶ
- [複数選択]で一度に設定できる枚数には制限があります。

- 確認画面が表示されます。[はい]を選ぶと実行されます。

接続方法を変える

接続方法を切り換えたい場合は、[DISP.]ボタンを押して、接続方法を選んでください。

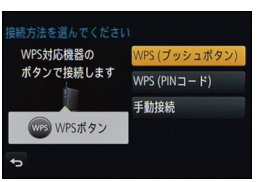


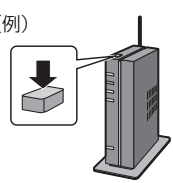
接続方法	設定内容	
ネットワーク経由	無線アクセスポイントを経由して接続します。	下記
直接接続	お使いのスマートフォン/タブレットが本機に直接接続します。	P56

ネットワーク経由

無線アクセスポイントとの接続方法を選びます。

※ WPSとは、無線LAN機器の接続やセキュリティーに関する設定を簡単に行うことができる機能です。お使いの無線アクセスポイントが対応しているかどうかは、無線アクセスポイントの説明書をご覧ください。



接続方法	設定内容
WPS（プッシュボタン）	WPSマークがあり、プッシュボタン方式のWi-Fi Protected Setup™対応の無線アクセスポイントを登録します。 **無線アクセスポイントがWPSモードになるまで、無線アクセスポイントのWPSボタンを押す** ● 詳しくは無線アクセスポイントの説明書をお読みください。 （例） 
WPS（PINコード）	WPSマークがあり、PINコード方式のWi-Fi Protected Setup対応の無線アクセスポイントを登録します。 1 **接続する無線アクセスポイントを選ぶ** 2 **本機の画面に表示されているPINコードを無線アクセスポイントに入力する** 3 **[MENU/SET] ボタンを押す** ● 詳しくは無線アクセスポイントの説明書をお読みください。
手動接続	WPSに対応しているかわからない場合や、無線アクセスポイントを検索して接続したい場合に選択します。 ● 詳しくは 55 ページをお読みください。

WPS に対応しているかわからない場合 ([手動接続]で接続する)

利用できる無線アクセスポイントを検索します。

- 選択した無線アクセスポイントにネットワーク認証が暗号化されている場合は、選択した無線アクセスポイントの「暗号化キー」を確認してください。
- [マニュアル入力]で接続する場合は、お使いの無線アクセスポイントの「SSID」、「暗号化方式」、「暗号化キー」を確認してください。

1 **接続する無線アクセスポイントを選ぶ**

- [DISP.]ボタンを押すと、無線アクセスポイントを再検索します。
- 無線アクセスポイントが見つからない場合は下記の「[マニュアル入力]で接続する場合」をお読みください。

2 **(ネットワーク認証が暗号化されている場合)暗号化キーを入力する**

■ [マニュアル入力]で接続する場合

1 **「WPS に対応しているかわからない場合 ([手動接続]で接続する)」の手順 1 の画面で、[マニュアル入力]を選ぶ**

2 **接続する無線アクセスポイントのSSIDを入力して[決定]を選ぶ**

3 **ネットワークの認証方式を選ぶ**

- ネットワークの認証方式については、無線アクセスポイントの説明書をお読みください。

4 **暗号化方式を選ぶ**

- ネットワーク認証の設定内容によって、設定できる方式が異なります。

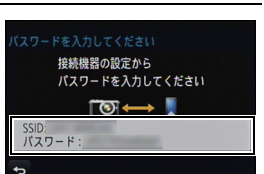
ネットワーク認証方式	設定できる暗号化方式
WPA2-PSK	[TKIP]/[AES]
WPA-PSK	[TKIP]/[AES]
共通キー	[WEP]
オープン	[暗号化なし]/[WEP]

5 **([暗号化なし]以外選択時)暗号化キーを入力する**

- 無線アクセスポイントを登録する場合は、無線アクセスポイントの説明書や設定をご確認ください。
- 接続できないときは、無線アクセスポイントの電波が弱いと考えられます。
- お使いの環境によっては通信速度が低下したり、ご利用になれない場合があります。

直接接続

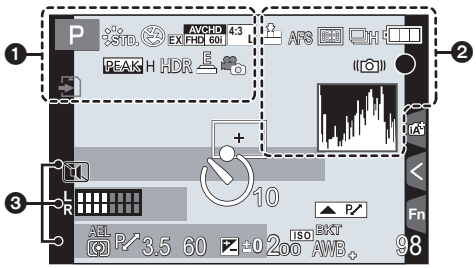
お使いのスマートフォン/タブレットとの接続方法を選択できます。
お使いのスマートフォン/タブレットが対応している接続方法を選んでください。

接続方法	設定内容
Wi-Fi Direct	1 スマートフォン/タブレットを Wi-Fi Direct™ モードにする 2 [Wi-Fi Direct] を選ぶ 3 接続するスマートフォン/タブレットを選ぶ ●詳しくは、お使いのスマートフォン/タブレットの取扱説明書をお読みください。
WPS 接続	[WPS（プッシュボタン）] 1 [WPS（プッシュ ボタン）] を選ぶ 2 スマートフォン/タブレットを WPS モードにする ●本機の[DISP.]ボタンを押すと、接続待ちの状態を延長できます。
	[WPS（PIN コード）] 1 [WPS（PINコード）] を選ぶ 2 スマートフォン/タブレットの PIN コードを本機に入力する
手動接続	スマートフォン/タブレットとの接続待ちの画面で本機に表示されている、SSIDとパスワードをスマートフォン/タブレットに入力する 

モニターの表示

モニターの画面表示は、本機の操作状態を示しています。

撮影時



❶

iA iA+ P A S M MP P SCN POP	撮影モード
C1	カスタムセット
STD. VIVD NAT MONO SCNY PORT CUST	フォトスタイル
	クリエイティブコントロール調整表示
	フラッシュモード
2nd	フラッシュ設定
AVCHD EX FHD 60i	EXテレコン(動画時)
AVCHD FHD 60i	記録方式/画質設定
4:3 L	記録画素数/画像横縦比
4:3 0.3M	EXテレコン(写真時)
	カード(記録時のみ表示)
XXhXXmXXs	記録経過時間※1
	同時記録表示
PEAK H PEAK L	ピーキング
HDR	HDR/iHDR
	多重露出
	デジタルズーム
E	電子シャッター
	写真撮影(写真優先)
	温度上昇表示

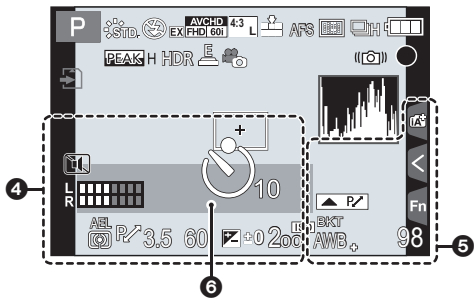
❷

RAW	クオリティ
AFS AFF AFC	フォーカスモード
	オートフォーカスモード
	個人認証
AFL	AFロック
SH H M L	連写
	オートブラケット
10 2	セルフタイマー
	バッテリー残量
OFF	手ブレ補正※2
	手ブレ警告
	記録動作(赤点滅)/フォーカス(緑点灯)
LOW	フォーカス(低照度時)
	Wi-Fi 接続状態
	ヒストグラム表示

❸

名前※3
トラベル経過日数※4
月齢/年齢※3
旅行先※4
現在日時/旅行先設定※4:

撮影時



❹

□	AFエリア
＋	スポット測光ターゲット
10 2	セルフタイマー※5
L R	マイクレベル表示
	サイレントモード
AEL	AEロック
	測光モード
P	プログラムシフト
3.5	絞り値
60	シャッタースピード
±0	露出補正値
	明るさ
	マニュアル露出アシスト
200 ISO	ISO感度

❺

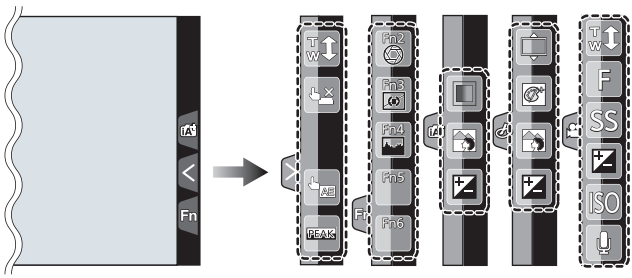
P	ダイヤル操作ガイド
BKT AWB	ホワイトバランスブラケット
	ホワイトバランス微調整
WB	ホワイトバランス
	色合い
98	記録可能枚数※6
残XXmXXs	記録可能時間※1、6
	タッチタブ
Fn	タッチタブ
	タッチタブ
	タッチタブ
	タッチタブ

❻

露出メーター
焦点距離表示
ステップズーム

※1　hは「hour（時間）」、mは「minute（分）」、sは「second（秒）」を省略した表示です。
※2　手ブレ補正機能対応レンズ装着時のみ表示されます。
※3　[プロフィール設定]を設定時、電源を入れた場合に約5秒間表示されます。
※4　電源を入れたとき/時計設定後/再生から撮影モードへ切り換え後、約5秒間表示されます。
※5　カウントダウン中に表示されます。
※6　カスタムメニューの[残枚数/残時間切換]の設定で、記録可能枚数または記録可能時間の表示を切り換えることができます。

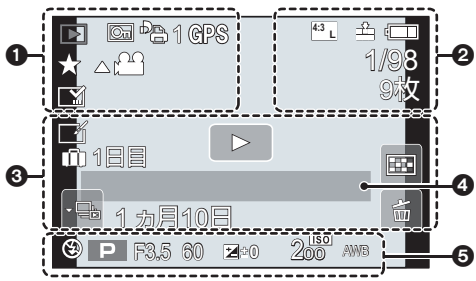
撮影時



T W	タッチズーム
	タッチシャッター
AE	タッチ AE
PEAK	ピーキング
Fn2	Fn2(ファンクションボタン)
Fn3	Fn3(ファンクションボタン)
Fn4	Fn4(ファンクションボタン)
Fn5	Fn5(ファンクションボタン)
Fn6	Fn6(ファンクションボタン)
	色合い
	ボケ味コントロール

	明るさ
	ぼかし方(ジオラマ)
	ワンポイントカラー
	光源の位置
	クリエイティブコントロール調整
F	絞り値
SS	シャッタースピード
ISO	ISO感度
	マイクレベル設定

再生時



❶

3D	再生モード
On	プロテクト
1	プリント枚数
GPS	位置情報
★	お気に入り表示
	ケーブル切断禁止アイコン
	動画再生
	連写グループ連続再生
	インターバル撮影グループ連続再生
	コマ撮りグループ連続再生
	文字焼き込み済み表示
XXhXXmXXs	再生経過時間※1

❷

4:3 L	記録画素数/画像横縦比
AVCHD FHD 60i	記録方式/画質設定
RAW	クオリティ
	バッテリー残量
1/98	画像番号/トータル枚数
	Wi-Fi 接続状態
9枚	連写枚数
XXhXXmXXs	動画記録時間※1

❸

	クリアレタッチ済み表示
	情報取得中アイコン
	再生(動画)
1日目	トラベル経過日数
	連写グループ表示
	インターバル撮影グループ表示
	コマ撮りグループ表示
	サイレントモード
1カ月10日	月齢/年齢
	マルチ再生
	消去

❹

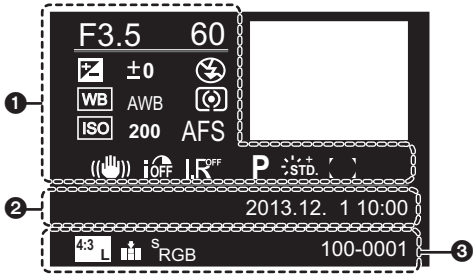
名前※2
旅行先※2
タイトル※2

❺

撮影情報※3

再生時

詳細情報表示



❶

撮影情報	
iOFF	iDレンジコントロール※3
HDR ON	HDR※4/iHDR※4
I.R OFF	超解像
[ ]	シェーディング補正※4

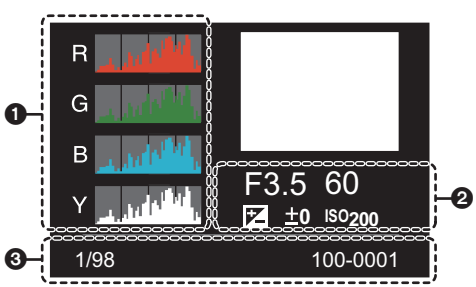
❷

撮影日時/ワールドタイム	

❸

4:3 L	記録画素数/画像横縦比
RAW	クオリティ
sRGB	色空間※4
100-0001	フォルダー·ファイル番号※3

ヒストグラム表示



❶

ヒストグラム

❷

撮影情報※3

❸

1/98	画像番号/トータル枚数
100-0001	フォルダー·ファイル番号※3

※1 hは「hour(時間)」、mは「minute(分)」、sは「second(秒)」を省略した表示です。
※2 [タイトル]、[旅行先]、[名前](赤ちゃん/ペット)、[名前](個人認証)の優先順位で表示されます。
※3 [AVCHD]で撮影した動画には表示されません。
※4 撮影した動画には表示されません。

メニュー一覧

メニューの設定方法は P14 へ

撮影

●撮影メニューと動画撮影メニューに共通のメニュー項目は、どちらかの設定を変更すると、もう一方の設定も変更されます。

フォトスタイル	撮影したいイメージに合わせて効果を選択することができます。効果の色や画質を調整することができます。(P31)
画像横縦比	画像の横縦比を設定します。(P32)
記録画素数	記録画素数を設定します。(P33)
クオリティ	画像を保存するときの圧縮率を設定します。(P33)
ISO感度	光に対する感度(ISO 感度)を設定できます。(P38)
測光モード	明るさを測る測光方式を設定します。(P38)
連写速度	連写時の連写速度を設定します。(P42)
オートブラケット	オートブラケット撮影時の単写/連写設定、補正幅、撮影順序を設定します。(P43)
セルフタイマー	セルフタイマー撮影時の撮影までの時間などを設定します。(P44)
iD レンジコントロール	コントラストや露出を補正します。
超解像	より輪郭がはっきりした、解像感がある写真を撮影します。
i手持ち夜景	夜景を高速連写で撮影し 1 枚の画像に合成します。(P24)
iHDR	背景と被写体の明暗差が大きい場合などに、露出の異なる写真を複数枚撮影して 1 枚の階調豊かな写真に合成します。(P24)
HDR	露出の異なる写真を3枚撮影して1枚の階調豊かな写真に合成します。
多重露出	1枚の画像に最大4回の露光を行ったような効果を得ることができます。
インターバル撮影	撮影開始時刻、撮影間隔、撮影枚数を設定し、動植物などの被写体を時間経過を追って自動的に撮影することができます。
コマ撮りアニメ	写真をつなぎ合わせてストップモーション動画を作成します。
シャッター方式	電子先幕と電子シャッターを使い分けて撮影することができます。(P40)
フラッシュ設定	撮影内容に合わせて、フラッシュの設定を行います。(P46)
デジタル赤目補正	フラッシュ発光での赤目を自動的に検出し、画像データを修正します。
ISO感度上限設定	ISO感度が [AUTO] または[ISO]のときに、選択した数値を上限として最適な ISO 感度を設定します。
ISO感度ステップ	ISO感度の設定を1/3 EVごと、または1 EVごとの設定値に変更します。
拡張 ISO 感度	ISO 感度が最小[ISO125]まで設定できるようになります。
長秒ノイズ除去	シャッタースピードを遅くして撮影することで発生するノイズを取り除きます。

シェーディング補正	レンズの特性によって画面周辺が暗くなる場合、画面周辺の明るさを補正します。
EX テレコン(写真)	記録画素数を[L] 以外に設定すると、画質を劣化させずに望遠効果を高めます。(P45)
デジタルズーム	望遠効果を高めます。拡大するほど画質は劣化します。
色空間	撮影した画像をパソコンの画面やプリンターなどで再現する場合に、色再現を正しく行うための方式を設定します。
手ブレ補正	撮影時の手ブレを感知して、カメラが自動的に補正します。
個人認証	登録した顔に自動で優先的にピントや露出を合わせます。
プロフィール設定	あらかじめ赤ちゃんやペットの名前や誕生日を設定することで、名前や月齢/年齢を画像に記録することができます。

動画

- [フォトスタイル]、[ISO感度]、[測光モード]、[iDレンジコントロール]、[超解像]、[デジタルズーム]は、撮影メニューと動画撮影メニューに共通のメニュー項目です。どちらかの設定を変更すると、もう一方の設定も変更されます。
  詳しくは、撮影メニューの同じ項目をお読みください。

記録方式	記録する動画のファイル形式(AVCHD、MP4)を設定します。(P18)
画質設定	記録する動画の画質(サイズ、記録フレームレートなど)を設定します。(P18)
動画露出設定	クリエイティブ動画モード時の絞り値、シャッタースピードの設定方法を選びます。
写真撮影	動画撮影中の写真の記録方法を設定します。
AF 連続動作	ピントを合わせた被写体にピントを合わせ続けます。
動画ハイライト表示	白飛びの起こっている部分を黒と白の点滅で表示します。
EX テレコン(動画)	望遠効果を高めます。(P45)
フリッカー軽減	動画のちらつきや横しまを軽減させるために、シャッタースピードを固定することができます。
タッチ静音操作	タッチ操作をすることで、動画撮影中でも静かに操作できます。
マイクレベル表示	マイクレベルを撮影画面に表示するかしないかを設定します。
マイクレベル設定	音声入力のレベルを 4 段階に調整します。
風音低減	音声記録時に風雑音がある場合に、風雑音を効果的に低減します。

fc カスタム

カスタムセット登録	現在のカメラの設定をカスタムセットとして登録します。(P30)
サイレントモード	操作音と発光の禁止を一括で設定します。(P44)
AF/AEロック切換	AF/AE ロック を行ったときに、ピントや露出の固定内容を設定します。
シャッター半押しレリーズ	シャッターボタン半押しで、すぐにシャッターを切ることができます。
AFS/AFF	フォーカスモードレバーの[AFS]に、[AFS]または [AFF]のいずれかを割り当てます。(P34)
クイックAF	シャッターボタンを押した際のピント合わせを速くします。
ピンポイントAF時間	オートフォーカスモードを[⊞]に設定時、シャッターボタンを半押ししたときに画面表示が拡大される時間を設定します。
ピンポイントAF表示	オートフォーカスモードを[⊞]に設定したときのアシスト画面を、画面の一部に表示するか、全画面表示にするか設定します。
AF補助光	暗い場所での撮影時、ピントを合わせやすくするためにシャッターボタン半押しでAF補助光ランプが点灯します。
フォーカス/レリーズ優先	ピントが合っていない場合は撮影できないように設定します。
AF+MF	自動でピントを合わせたあと、手動でピントを合わせることができます。
MFアシスト	MFアシスト（拡大画面）の表示方法を設定します。(P36)
MFアシスト表示	MFアシスト（拡大画面）を、画面の一部に表示するか、全画面表示にするか設定します。(P36)
MFガイド	手動でピントを合わせると、ピントを合わせる方向を確認できる MFガイドを画面に表示します。
ピーキング	手動でピントを合わせているときに、ピントが合っている部分に色を付けて表示します。
ヒストグラム表示	ヒストグラムを表示するかしないかを設定します。
ガイドライン表示	撮影時に表示するガイドラインのパターンを設定します。
ハイライト表示	オートレビューまたは再生時に、白飛びの起こっている部分を黒と白の点滅で表示します。
常時プレビュー（M モード）	マニュアル露出モード時に、撮影画面で絞り効果、シャッタースピード効果の確認ができます。(P28)
露出メーター	露出メーターを表示するかしないかを設定します。(P26)
ダイヤル操作ガイド	ダイヤル操作ガイドを表示するかしないかを設定します。
記録枠表示	動画撮影時の画角と写真撮影時の画角を切り換えます。
残枚数/残時間切換	記録可能枚数または記録可能時間の表示を切り換えます。

オートレビュー	写真撮影後に撮影画像を表示します。
Fn（ファンクション） ボタン設定	ファンクションボタンに、撮影機能などを割り当てます。(P15)
Q.MENU	クイックメニューの設定方法を切り換えます。(P15)
動画ボタン	動画ボタン動作の有効、無効を設定します。
パワーズームレンズ	パワーズーム（電動式ズーム）対応交換レンズ使用時の画面の表示やレンズの動作を設定します。
フォーカスリング無しレンズ	MFアシスト時のコントロールダイヤルの動作を設定します。
タッチ設定	タッチ操作の有効、無効を設定します。
タッチ再生送り速度	タッチ操作で画像を連続して送るときの画像送りの速さを設定します。
メニューガイド	モードダイヤルを SCN / に切り換えたときに表示される画面を設定します。
レンズ無しレリーズ	本体にレンズを取り付けていないときに、シャッターが切れるようにするか、切れないようにするかを設定します。

セットアップ

時計設定	日付や時刻を変更するときに設定します。(P13)
ワールドタイム	お住まいの地域と旅行先の時刻を設定します。
トラベル日付	旅行の出発日と帰着日を設定したり、旅行先の名前を設定します。
Wi-Fi	Wi-Fi 機能を使うために必要な各種設定を行います。
電子音	電子音や電子シャッター音を設定します。
スピーカー音量	スピーカーの音量を7段階に調整します。
モニター調整	モニターの明るさや色合い、または赤みや青みなどの色みを調整します。
モニター輝度	周囲の明るさに応じて、モニターの明るさを設定できます。
エコモード	本機の電力消費を抑えたり、バッテリーの消耗を防ぎます。
USBモード	USB接続ケーブル（付属）接続時の通信方式を設定します。
映像出力	テレビなどとの接続のしかたを設定します。
ビエラリンク	ビエラリンク対応機器と自動的に連動させます。
3D テレビ出力	3D画像の出力方法を設定します。
メニュー位置メモリー	最後に操作したメニュー項目の選択位置を、メニューの種類ごとに記憶します。
メニュー背景色	メニュー画面の背景色を設定します。
メニューインフォメーション	メニュー画面にメニュー項目/設定内容の説明文を表示します。
バージョン表示	本体とレンズのファームウェアバージョンを確認できます。
露出補正リセット	撮影モード変更時および電源OFF時に露出補正量をリセットすることができます。

セルフタイマー自動解除	電源スイッチを[OFF]にしたときに、セルフタイマーを解除する、しないを設定します。
番号リセット	画像のファイル番号を0001に戻します。
設定リセット	設定をお買い上げ時の状態に戻します。
Wi-Fi 設定リセット	Wi-Fiメニューで設定したすべての設定をお買い上げ時の状態に戻します。([PicMate 設定]は除く)
ピクセルリフレッシュ	撮像素子と画像処理の最適化を行います。
センサークリーニング	撮像素子前面に付着したごみやほこりを払い落とすダストリダクションを行います。
フォーマット	カードをフォーマット(初期化)します。(P12)

▶ 再生

2D/3D 切換	3D 画像の再生方法を切り換えます。
スライドショー	画像の種類などを選んで、順番に再生します。(P47)
再生モード	再生する画像の種類などを選び、特定の画像のみを再生します。(P48)
位置情報記録	スマートフォン/タブレットで取得した位置情報(緯度･経度)を本機に送信して、画像に位置情報を書き込むことができます。
クリアレタッチ	撮影した写真に写り込んだ不要な部分を消去することができます。(P48)
タイトル入力	撮影した画像に文字(コメント)を入力します。
文字焼き込み	撮影した画像に、撮影日時、名前、旅行先、トラベル日付などを焼き込みます。
動画分割	撮影した動画を 2 つに分割します。
インターバル動画作成	インターバル撮影グループから動画を作成します。
コマ撮りアニメ作成	コマ撮りグループから動画を作成します。
リサイズ(縮小)	画像のサイズ(記録画素数)を小さくします。
トリミング(切抜き)	撮影した写真の必要な部分を切り抜きます。
画像回転	画像を手動で 90° ずつ回転させます。
縦位置自動回転	本機を縦に構えて撮影した写真を縦向きに表示させることができます。
お気に入り	画像にマークを付け、お気に入り画像として設定します。
プリント設定	プリントする画像や枚数などを設定します。
プロテクト	画像を誤って消去することがないように保護します。
認証情報編集	個人認証に関する情報の解除や入れ換えをします。
消去確認画面	画像消去時に表示される確認画面の選択肢 [はい]/[いいえ] のどちらが最初に選ばれるかを設定します。

付属のソフトウェアを使う

付属のCD-ROMには、以下のソフトウェアが収録されています。
パソコンにインストールしてお使いください。

PHOTOfunSTUDIO 9.2 AE (Windows XP/Vista/7/8)

写真や動画をパソコンに取り込んだり、撮影日や機種名などで分類して整理するなど、画像を管理することができるソフトウェアです。さらに、DVD への画像の書き込みや、画像補正、動画の編集などもできます。

SILKYPIX Developer Studio
(Windows XP/Vista/7/8、Mac OS X v10.5/v10.6/v10.7/v10.8)

RAWファイルの画像を現像や編集するソフトウェアです。編集した画像をパソコンなどで表示できるファイル形式(JPEG、TIFF など)で保存できます。

SILKYPIX Developer Studio の使い方などの詳しい説明は、「ヘルプ」または市川ソフトラボラトリーのサポートサイト
http://www.isl.co.jp/SILKYPIX/japanese/p/support/
をご覧ください。

LoiLoScope -30日間フル体験版(Windows XP/Vista/7/8)

LoiLoScope は、お手持ちのパソコンをフル活用する、簡単に動画編集できるソフトウエアです。今までになかった机の上でカードを並べるようにして作るアナログ操作は、覚えることなく初めてでも思いのままに操作し、DVD、Webサイト、メール等々を使い、素早く動画や写真を友達に届けることができます。

- インストールされるのは、体験版ダウンロードサイトへのショートカットのみになります。

LoiLoScope の詳しい使い方は、以下のサイトから「マニュアル」をダウンロードしてご覧ください。
使い方 Web サイト:http://loilo.tv/product/20

■ ソフトウェアをインストールする

●CD-ROMを入れる前に、他の起動中のアプリケーションソフトをすべて終了してください。

1 お使いのパソコンの環境を確認する

●「PHOTOfunSTUDIO 9.2 AE」の動作環境

対応OS	Windows® XP（32 bit）SP3 Windows Vista®（32 bit）SP2 Windows® 7（32 bit/64 bit）および SP1 Windows® 8（32 bit/64 bit）	
CPU	Windows® XP	Pentium® Ⅲ 500 MHz以上
	Windows Vista®	Pentium® Ⅲ 800 MHz以上
	Windows® 7	Pentium® Ⅲ 1 GHz以上
	Windows® 8	
ディスプレイ	1024×768以上（1920×1080 以上を推奨）	
搭載メモリ	Windows® XP	512 MB以上
	Windows Vista®	
	Windows® 7	1 GB以上（32 bit） 2 GB以上（64 bit）
	Windows® 8	
ハードディスク	インストールに450 MB以上の空き容量	

その他の動作環境について、詳しくは「PHOTOfunSTUDIO」の取扱説明書（PDFファイル）をお読みください。

●「SILKYPIX Developer Studio 4.1 SE」の動作環境は、67 ページのサポートサイトをお読みください。

2 CD-ROMを入れる

3 インストールメニューが表示されたら、[アプリケーション] をクリックする

●自動再生画面が表示された場合、[Launcher.exeの実行]を選ぶと、メニューを表示できます。

●Windows 8ではCD-ROMを入れた後に表示されるメッセージをクリックし、[Launcher.exeの実行]を選ぶと、メニューを表示できます。

●[コンピューター]内の[VFF○○○○]（○○○○は機種によって異なる）をダブルクリックすることでもメニューを表示できます。

4 [おまかせインストール] をクリックする

●画面のメッセージに従ってインストールを進めてください。

●お使いのパソコンに対応したソフトウェアのみがインストールされます。

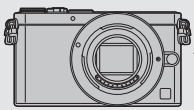
●Mac では、SILKYPIX を手動でインストールすることができます。

❶CD-ROM を入れる
❷CD-ROM の「Application」フォルダーをダブルクリックする
❸自動で表示されるフォルダーをダブルクリックする
❹フォルダー内にあるアイコンをダブルクリックする

こんなときは使えません

●「PHOTOfunSTUDIO」および「LoiLoScope」はMacでは使えません。

別売品のご紹介



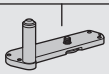
バッテリーパック
DMW-BLH7

バッテリーチャージャー
DMW-BTC9
海外用変換プラグ(C タイプ)付き

DCカプラー
DMW-DCC15

ACアダプター
DMW-AC8

DC カプラーと AC アダプターは、必ずセットでお買い求めください。
単独では使用できません。



ハンドグリップ
DMW-HGR1

三脚アダプター
DMW-TA1
取り付けたレンズが三脚の台座に接触する場合にお使いください。

USB接続ケーブル
DMW-USBC1

<パソコン>

AV ケーブル
DMW-AVC1

HDMIマイクロケーブル
RP-CHEU15A
RP-CHEU20A

<テレビ>

ショルダーストラップ
DMW-SSTG1　DMW-SSTG2
DMW-SSTG5

ロングショルダーストラップ
DMW-SSTG6　DMW-SSTG7
DMW-STLA1
斜め掛けに適したロングタイプの
ショルダーストラップです。

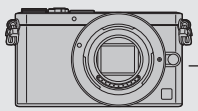
ハンドストラップ
DMW-HSTG1

ソフトバッグ
DMW-BAG1　DMW-BAG2
DMW-BALA1　DMW-CZ18

ソフトケース
DMW-CG3
DMW-CG4
DMW-CG5

本革ボディケース
DMW-CGBM

ボディケース・
ストラップキット
DMW-BCSKM



ボディキャップ
DMW-BDC1

交換レンズ
H-FS12032

MCプロテクター
DMW-LMCH37

NDフィルター
DMW-LND37

PLフィルター
（サーキュラータイプ）
DMW-LPL37
DMW-LPLA37

レンズキャップ
DMW-LFC37

レンズリアキャップ
DMW-LRC1

交換レンズ

H-PS45175	H-PS14042	H-VS014140	H-FS14140	H-HS35100
H-HS12035	H-FS45150	H-FS100300	H-FS045200	H-FS1442A
H-FS014045	H-FS12032	H-F007014	H-F008	H-ES045
H-X025	H-H020A	H-H014		

3D交換レンズ
H-FT012

マウントアダプター
DMW-MA1
<交換レンズ>
（フォーサーズマウント）

ライカレンズ用マウントアダプター
DMW-MA2M
<交換レンズ>
（ライカ M マウント）

ライカレンズ用マウントアダプター
DMW-MA3R
<交換レンズ>
（ライカ R マウント）

●別売品の最新情報は、カタログ/ホームページなどをご覧ください。
記載の品番は2013年10月現在のものです。変更されることがあります。

CLUB Panasonic
Pana Sense

別売品は販売店でお買い求めいただけます。
パナソニックの家電製品直販サイト「パナセンス」でお買い求めいただけるものもあります。
詳しくは「パナセンス」のサイトをご覧ください。
http://club.panasonic.jp/mall/sense/
携帯電話からもお買い求めいただけます。
http://p-mp.jp/cpm/

メッセージ表示

確認/エラー内容を画面に文章で表示します。
ここではその主なメッセージを例として説明しています。
●「取扱説明書 活用ガイド」(PDF 形式)では、より多くのメッセージの例が記載されていますので、併せてご確認ください。

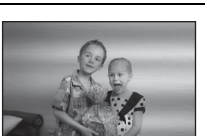
メッセージ	原因・対策
消去できない画像があります/この画像は消去できません	DCF規格に準拠していない画像は消去できません。 パソコンなどに必要なデータを保存してから本機でフォーマット(P12)してください。
メモリーカードエラー/フォーマットしますか?	本機では使用できないフォーマットです。 ●別のカードを入れてお試しください。 ●パソコンなどを使って必要なデータを保存してから本機でフォーマット(P12)し直してください。 データは消去されます。
レンズが正しく装着されていません。レンズ装着時はレンズ取り外しボタンを押さないでください。	●レンズを一度外し、レンズ取り外しボタンを押さずに再度付け直してください。(P10) 再度電源を入れ直し、それでも表示される場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。
メモリーカードエラー/カードのパラメータが異常です/このカードは使用できません	本機に対応したカードをお使いください。(P12)
カードを入れ直してください/別のカードでお試しください	●カードへのアクセスに失敗しました。もう一度カードを入れ直してください。 ●miniSDカード/microSDカード/microSDHCカードは、必ずアダプターに入れてから本機に挿入してください。 ●別のカードを入れてお試しください。
リードエラー/ライトエラー/カードを確認してください	●データの読み込みまたは書き込みに失敗しました。電源スイッチを[OFF]にしてからカードを抜いてください。再度カードを入れ、電源スイッチを[ON]にして記録または読み込みしてください。 ●カードが破壊されている可能性があります。 ●別のカードを入れてお試しください。
このバッテリーは使えません	●パナソニック純正品のバッテリーをお使いください。それでも表示される場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。 ●バッテリーの端子部が汚れている場合は、端子部のごみなどを取り除いてください。
送信できる画像がありません	送信先の制限によって、送信できる画像が 1 つもない場合に表示されます。送信する画像のファイル形式を確認してください。

Q&A 故障かな？と思ったら

まず、以下の方法(P72～75)をお試しください。

それでも解決できない場合は、セットアップメニューの[設定リセット](P66)を行うと症状が改善する場合があります。
これらの処置をしても直らないときは、「保証とアフターサービス」(P91)をお読みください。

●「取扱説明書 活用ガイド」(PDF 形式)では、より多くの Q&A が記載されていますので、併せてご確認ください。

Q(質問)	A(回答)
電源スイッチを[ON]にしても動作しない。またはすぐに切れる。	●バッテリーが消耗しています。 →充電してください。 ●電源を入れたまま放置しているとバッテリーは消耗します。 →[エコモード]を使うなどして、こまめに電源を切ってください。
撮影中に電源が勝手に切れる。	●周囲の温度が高いときや連続で連写撮影、動画撮影、Wi-Fi接続を行ったときなど、本機の温度が上昇すると、[⚠]が点滅します。[⚠]が点滅したあと、メッセージが表示されると、本機を保護するために電源が自動的に切れます。電源が切れた場合、本機の温度が下がるまで一部の機能が制限されます。
ピントが合わない。	●ピントが合う範囲から外れています。 ●手ブレや被写体ブレしています。 ●[フォーカス/レリーズ優先]が[レリーズ]になっていませんか？ ●不適切な状態でAFロック(P37)がかかっていませんか？
撮影した画像がブレている。手ブレ補正が効かない。	●特に暗い場所で撮影すると、シャッタースピードが遅くなり、手ブレ補正が十分に働かないことがあります。 →本機を両手でしっかり持って撮影してください。(P16) →遅いシャッタースピードで撮影するときは三脚を使用し、セルフタイマー(P44)を使って撮影してください。 ●電子シャッターで撮影時は、動いている被写体を撮影すると、被写体が曲がって撮影される場合があります。(P40)
蛍光灯やLEDなどの照明器具下でちらつきや横しまが出る。	●これは、本機の撮像素子であるMOSセンサーの特徴であり、異常ではありません。 ●電子シャッターで撮影していませんか？(P40) →電子シャッター使用時は、シャッタースピードを遅くすると横しまが軽減されることがあります。 

Q(質問)	A(回答)
撮影した画像の明るさや色合いが実際とは異なる。	●蛍光灯や LED などの照明下での撮影時、シャッタースピードが速くなると、明るさや色合いが多少変化する場合があります。これは光源の特性により発生するものであり、異常ではありません。 ●極端に明るい場所で被写体を撮影したり、蛍光灯、LED、水銀灯、ナトリウム灯などの照明下で撮影すると、色合いや画面の明るさが変わったり、画面に横帯が現れたりすることがあります。
動画が撮影できない。	●容量の大きなカードをご使用の場合は、電源スイッチを[ON]にしたあとしばらくの間撮影できないことがあります。
一瞬画面が黒くなったり、ノイズが記録される。	●動画撮影時の環境によっては、静電気や電磁波などにより、一瞬画面が黒くなったり、ノイズが記録される場合があります。
フラッシュが発光しない。	●フラッシュを閉じていませんか？フラッシュを開いてください。(P46) ●電子シャッター使用時はフラッシュは発光しません。(P40) →[シャッター方式]を[AUTO]または[電子先幕]に設定してください。 ●サイレントモード使用時はフラッシュは発光しません。(P44) →[サイレントモード]を[OFF]に設定してください。
再生できない。 撮影した画像がない。	●カードは入っていますか？ ●カードに再生できる画像はありますか？ ●パソコンで加工したフォルダーや画像ではないですか？この場合、本機で再生することはできません。 →パソコンからカードに画像を書き込む場合は、CD-ROM(付属)のソフトウェア「PHOTOfunSTUDIO」を使うことをお勧めします。 ●[再生モード]を設定していませんか？ →[通常再生]に設定してください。(P48)
フォルダー・ファイル番号が[ー]で表示されたり、画面が黒くなる。	●規格外の画像やパソコンで編集された画像、または他社のデジタルカメラで撮影した画像ではないですか？ ●撮影直後にバッテリーを取り出したり、残量が少なくなったバッテリーで撮影していませんか？ →このような画像を消去するには、バックアップをとりフォーマット(P12)してください。
画面に「サムネイル表示」と表示される。	●他機で撮影された写真ではありませんか？その場合、画質が劣化して表示されることがあります。
本機で撮影した動画が他機で再生できない。	●[AVCHD]および[MP4]で撮影された動画は、それぞれの対応機器であっても、再生すると画質や音質が悪くなったり、再生できない場合があります。また撮影情報が、正しく表示されない場合があります。

Q(質問)	A(回答)
Wi-Fi 接続できない。 電波が途切れる。 無線アクセスポイントが表示されない。	**■ Wi-Fi 接続全般について** ●接続する機器の通信圏内でご使用ください。 ●2.4 GHz帯の周波数を使用する電子レンジやコードレス電話機などの機器を近くで使用していませんか？ →同時に使用した場合、電波が途切れることがあります。機器から十分に離してご使用ください。 ●バッテリー残量表示が赤く点滅している場合は、他の機器と接続できなかったり、通信が途切れたりすることがあります。([通信エラー]などのメッセージが表示されます) **■ 無線アクセスポイントについて** ●接続したい無線アクセスポイントが使用可能な状態になっているか確認してください。 ●無線アクセスポイントの電波状況によっては、無線アクセスポイントを表示できない、または接続できないことがあります。 →本機と無線アクセスポイントを近づけてください。 →本機と無線アクセスポイントの間の障害物を取り除いてください。 →本機の向きを変えてください。 →無線アクセスポイントの置き場所や向きを変えてください。 →[手動接続]を行ってください。(P55) ●無線アクセスポイントの設定内容によっては、電波が存在していても表示されないことがあります。 →無線アクセスポイントの無線チャンネルが自動で設定されない場合は、手動で無線アクセスポイントの無線チャンネルを1～11チャンネルの中から選び、設定してください。 →無線アクセスポイントのネットワーク SSID が非通知に設定されている場合、検出されない場合があります。ネットワークSSIDを入力して接続してください。(P55)もしくは、無線アクセスポイントのネットワークSSIDの非通知設定を解除してください。 ●無線アクセスポイントにより接続方式やセキュリティーの設定方法が異なります。(無線アクセスポイントの説明書をご確認ください) ●5 GHz/2.4 GHz 切り換え式の無線アクセスポイントが5 GHz帯で他の機器と接続中ではありませんか？ →5 GHz/2.4 GHz同時使用できる無線アクセスポイントのご使用をお勧めします。対応していない場合は本機と同時使用できません。

Q(質問)	A(回答)
パソコンに画像を送信できない。	● OSおよびセキュリティソフトウェアなどのファイアウォールが有効になっている場合、パソコンに接続できないことがあります。
画像送信が途中で失敗する。送信できない画像がある。	● バッテリー残量表示が赤く点滅している場合は、画像を送信できません。 ● 画像のサイズが大きすぎませんか？ → [送信サイズ] で写真のサイズを小さくしてください。 → [動画分割] で動画を分割してください。 ● 送信先により送信できる動画のファイル形式は異なります。 ● Web サービスの容量または枚数がいっぱいになっています。 →「LUMIX CLUB（PicMate）」にログインし、「Webサービス連携設定」で送信先の状況を確認してください。
テレビで動画の再生ができない。	● カードを直接テレビに差し込んで再生していませんか？ → AVケーブル(別売)またはHDMIマイクロケーブル(別売)をテレビに接続し、本機で動画を再生してください。
ビエラリンク(HDMI)が働かない。	● HDMIマイクロケーブル(別売)で正しく接続されていますか？ ● 本機の[ビエラリンク]を[ON]に設定していますか？ → 入力切換が自動で切り換わらない場合はテレビのリモコンを使って入力切換してください。 → 接続した機器側のビエラリンク(HDMI)の設定を確認してください。 → 本機の電源を入れ直してください。 → テレビ(ビエラ)の「ビエラリンク制御(HDMI機器制御)」の設定を「しない」に変更し、再度「する」に設定してください。(詳しくはビエラの取扱説明書をお読みください)
電源を切っているときに(スリープモードを含む)シャッターが閉じたままになっている。	● 振動によってシャッターが閉じる場合がありますが、故障ではありません。マウント内に指を入れないでください。電源を入れるとシャッターが開きます。
レンズ部から音がする。	● 電源[ON]または[OFF]時にレンズ移動や絞り動作を行う音で、故障ではありません。 ● ズーム操作や本機を動かしたときなどに明るさが変化することで自動絞り動作を行う音で、異常ではありません。
本機が熱くなる。	● ご使用中、本機表面が多少熱くなることがありますが、性能・品質には問題ありません。
時計が合っていない。	● 本機を長期間放置すると、時計がリセットされることがあります。 →「時計を設定してください」とメッセージが出ますので、再度時計設定をしてください。(P13)

使用上のお願い

本機について

磁気が発生するところや電磁波が発生するところ(電子レンジ、テレビやゲーム機など)からはできるだけ離れて使う

- テレビの上や近くで操作すると、電磁波の影響で画像や音声が乱れることがあります。
- スピーカーや大型モーターなどが出す強い磁気により、記録が損なわれたり、画像がゆがんだりします。
- マイコンを含めたデジタル回路の出す電磁波により、お互いに影響を及ぼし、画像や音声が乱れることがあります。
- 本機が影響を受け、正常に動作しないときは、バッテリーを取り出したりACアダプター(別売:DMW-AC8)、DCカプラー(別売:DMW-DCC15)を一度抜いてから、あらためて挿入または接続し、電源を入れ直してください。

電波塔や高圧線の近くでは、なるべく使わない

- 近くで撮ると、電波や高電圧の影響で撮影画像や音声が悪くなることがあります。

付属のコード、ケーブルを必ず使用してください。別売品をお使いの場合は、別売品に付属のコード、ケーブルを使用してください。
また、コード、ケーブルは延長しないでください。

殺虫剤や揮発性のものを本機にかけない

- かかると、外装ケースが変質したり、塗装がはげるおそれがあります。

ゴム製品やビニール製品などを長期間接触させたままにしないでください。

お手入れについて

お手入れの際は、バッテリーまたはDCカプラーを取り出しておく、または電源プラグをコンセントから抜き、乾いた柔らかい布でふいてください。

- 汚れがひどいときは、水に浸した布をよく絞ってから汚れをふき取り、そのあと、乾いた布でふいてください。
- ズームリングやフォーカスリングに付いたほこりや汚れは、ほこりの出にくい乾いた布でふいてください。
- ベンジン、シンナー、アルコール、台所洗剤などの溶剤は、外装ケースが変質したり、塗装がはげるおそれがありますので使用しないでください。
- 化学雑巾をご使用の際は、その注意書きに従ってください。

■ 撮像素子のごみの付着について

本機はレンズ交換方式のため、レンズ交換の際に本体の内部にごみが入り込むことがあり、撮影条件によっては、撮像素子に付着したごみが写り込む場合があります。
本体の内部にごみやほこりが付着するのを防ぐために、ほこりの多い場所でのレンズ交換は避け、本体を保管するときは、必ずボディキャップまたはレンズを付けてください。その際、ボディキャップのごみも必ず除去してください。

ダストリダクション機能について
本機は、撮像素子前面に付着したごみやほこりを払い落とすダストリダクション機能を備えています。この機能は、電源スイッチを[ON]にすると自動的に働きますが、特にごみが気になる場合はセットアップメニューの[センサークリーニング]を行ってください。

撮像素子のごみの除去
撮像素子は非常に精密で、傷つきやすいので、やむをえずご自身でクリーニングされる場合は、以下のことを必ずお守りください。
- ブロワー(市販)で撮像素子の表面のほこりを吹き飛ばします。強く吹きすぎないようにお気をつけください。
- ブロワーをレンズマウントより中に入れないでください。
- ブロワーが撮像素子に触れないようにしてください。万一、ブロワーが撮像素子に触れると傷がつきます。
- ブロワー以外のものは使用しないでください。
- ブロワーでもごみやほこりを除去できない場合は、お買い上げの販売店または修理ご相談窓口にお問い合わせください。

バッテリーについて

使用後は、必ずバッテリーを取り出す
- 取り出したバッテリーはポリ袋に入れ、金属類(クリップなど)から離して保管、持ち運びしてください。

出かけるときは予備のバッテリーを準備する

不要になった電池は、捨てないで充電式電池リサイクル協力店へご持参ください。

使用済み充電式電池の届け先
最寄りのリサイクル協力店へ
詳細は、一般社団法人JBRCのホームページをご参照ください。
- ホームページ　http://www.jbrc.net/hp

充電式
リチウムイオン
電池使用
Li-ion 20

使用済み充電式電池の取り扱いについて
- 端子部をセロハンテープなどで絶縁してください。
- 分解しないでください。

－このマークがある場合は－

ヨーロッパ連合以外の国の廃棄処分に関する情報

このシンボルマークはEU域内でのみ有効です。
製品を廃棄する場合には、最寄りの市町村窓口、または販売店で、正しい廃棄方法をお問い合わせください。

- 本製品に付属するソフトウェアを無断で営業目的として複製（コピー）したり、ネットワークに転載したりすることを禁止します。
- 本製品の使用、または故障により生じた直接、間接の損害につきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品によるデータの破損につきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本書で説明する製品の外観と仕様は、改良により実際とは異なる場合があります。

- G MICRO SYSTEMは、マイクロフォーサーズシステム規格に準拠したLUMIXのレンズ交換式デジタルカメラシステムです。
- マイクロフォーサーズ™ 及びマイクロフォーサーズ ロゴマークはオリンパスイメージング（株）の日本・米国・EU・その他各国の商標または登録商標です。
- フォーサーズ™ 及びフォーサーズ ロゴマークはオリンパスイメージング（株）の日本・米国・EU・その他各国の商標または登録商標です。
- SDXCロゴはSD-3C, LLCの商標です。
- HDMI、HDMIロゴ、およびHigh-Definition Multimedia Interfaceは、米国およびその他の国におけるHDMI Licensing LLC の商標または、登録商標です。
- “AVCHD”および“AVCHD”ロゴはパナソニック株式会社とソニー株式会社の商標です。
- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
- HDAVI Control™ は商標です。
- Adobeは、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- WindowsおよびWindows Vistaは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Mac、Mac OSは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
- App Store は Apple Inc. のサービスマークです。
- Android および Google Play は Google Inc. の商標または登録商標です。

- “Wi-Fi CERTIFIED” ロゴは、“Wi-Fi Alliance” の認証マークです。
- Wi-Fi Protected Setup のマークは、“Wi-Fi Alliance” の商標です。
- “Wi-Fi”、“Wi-Fi Protected Setup”、“Wi-Fi Direct”、“WPA”、“WPA2” は “Wi-Fi Alliance” の商標または登録商標です。
- DLNA, the DLNA Logo and DLNA CERTIFIED are trademarks, service marks, or certification marks of the Digital Living Network Alliance.
- 本製品には、ダイナコムウェア株式会社の「DynaFont」を使用しております。
  DynaFontは、DynaComware Taiwan Inc.の登録商標です。
- その他、本書に記載されている各種名称、会社名、商品名などは各社の商標または登録商標です。

本製品は、AVC Patent Portfolio License に基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する行為にかかわる個人使用を除いてはライセンスされておりません。
- AVC 規格に準拠する動画（以下、AVC ビデオ）を記録する場合
- 個人的かつ非営利的活動に従事する消費者によって記録された AVC ビデオを再生する場合
- ライセンスを受けた提供者から入手された AVC ビデオを再生する場合
  詳細については米国法人 MPEG LA, LLC (http://www.mpegla.com) をご参照ください。

本製品は、以下の種類のソフトウェアから構成されています。
(1) パナソニック株式会社（パナソニック）が独自に開発したソフトウェア
(2) 第三者が保有しており、パナソニックにライセンスされたソフトウェア
(3) オープンソースソフトウェア
上記（3）に分類されるソフトウェアは、これら単体で有用であることを期待して頒布されますが、「商品性」または「特定の目的についての適合性」についての黙示の保証をしないことを含め、一切の保証はなされません。
詳細は、[MENU/SET] → [セットアップ] → [バージョン表示] → [ソフト情報] で表示されるライセンス条件をご参照ください。

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

- 付属のUSB接続ケーブルまたは、当社製USB接続ケーブル（別売：DMW-USBC1）以外は使用しないでください。
- 当社製 AV ケーブル（別売：DMW-AVC1）をお使いください。
- 当社製 HDMI マイクロケーブル（別売：RP-CHEU15A、RP-CHEU20A）をお使いください。
- ケーブルは延長しないでください。

無線LAN使用上のお願い

■ 使用周波数帯

本機は2.4 GHz帯の周波数帯を使用しますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に留意してご使用ください。

■ 周波数表示の見方

周波数表示は、Wi-Fi メニューの[認証情報]で確認できます。
下記「認証情報の表示方法」をご覧ください。

本機が2.4 GHz周波数帯を使用するDSSSとOFDM変調方式を採用した無線設備で、与干渉距離が約40 mであることを意味します。

無線LAN機器使用上の注意事項

この機器の使用周波数帯域では、電子レンジなどの産業・科学・医療機器のほか、工場の製造ラインなどで使用される移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)および特定小電力無線局(免許を要しない無線局)、ならびにアマチュア無線局(免許を要する無線局)が運用されています。

1 この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていない事を確認してください。
2 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、すみやかに場所を変更するか、または電波の使用を停止したうえ、下記連絡先にご連絡いただき、混信回避のための処置など(例えば、パーティションの設置など)についてご相談してください。
3 その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きた時は、次の連絡先へお問い合わせください。

パナソニック LUMIX(ルミックス)ご相談窓口 365日 受付9時～20時
電話 フリーダイヤル 0120-878-638 (パナは ルミっくすパチ!)
※携帯電話・PHSからもご利用になれます。
■上記番号がご利用いただけない場合 06-6907-1187
■FAX フリーダイヤル 0120-878-236

■ 認証情報の表示方法

本機の認証情報を表示するには、次の順で選択してください。

1 セットアップメニューの [Wi-Fi] を選ぶ
2 Wi-Fi メニューから [Wi-Fi 設定] を選ぶ
3 ▲/▼ で [認証情報] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

■ 無線LAN接続について

本機は公衆無線LAN環境を経由して無線LAN接続することはできません。

仕様

この仕様は、性能向上のため変更することがあります。

電源	DC 8.4 V
消費電力	2.3 W（撮影時）[交換レンズ(H-FS12032)装着時] 1.5 W（再生時）[交換レンズ(H-FS12032)装着時]

カメラ有効画素数	1600万画素
撮像素子	4/3型 Live MOSセンサー　総画素数1684 万画素、 原色カラーフィルター
デジタルズーム	最大4倍
EX テレコン	写真時：最大 2 倍（記録画素数 [S]（4 M）、画像横縦比 [4:3] 選択時） 動画時： 2.4 倍/3.6 倍/4.8 倍
フォーカス	オートフォーカス/ マニュアルフォーカス 顔認識/追尾AF/23点/1点/ピンポイント（タッチフォーカスエリア選択可能）
シャッター方式	電子制御式単幕フォーカルプレーンシャッター / 電子式シャッター
連写撮影：連写速度	メカシャッター：5 コマ/秒（高速）、4 コマ/秒（中速）、2コマ/秒（低速） 電子シャッター：40コマ/秒(超高速)、10 コマ/秒（高速）、 4 コマ/秒（中速）、2コマ/秒（低速）
連写コマ数	最大7 コマ（RAWファイルあり） カードの空き容量に依存（RAWファイルなし）
ISO感度 （標準出力感度）	オート/インテリジェントISO/125 ※/200/400/800/1600/ 3200/6400/12800/25600（1/3 EV ステップに変更可能） ※ [拡張ISO感度] を設定時のみ
最低被写体照度	約 9 lx(i ローライトモード時、シャッタースピード 1/30 秒) [交換レンズ（H-FS12032）装着時]
シャッタースピード	60 ～ 1/500秒（メカシャッター時） 1 ～ 1/16000秒（電子シャッター時） 動画撮影中の写真記録 動画優先時：1/25 ～ 1/16000秒 写真優先時：60 ～ 1/16000 秒
測光範囲	EV 0 ～ EV 18
ホワイトバランス	オートホワイトバランス/晴天/曇り/日陰/白熱灯/フラッシュ/ ホワイトセット1/ホワイトセット2/色温度設定
露出	プログラムAE（P）、絞り優先 AE（A）、シャッター優先 AE（S）、 マニュアル露出（M）、オート 露出補正（1/3 EVステップ、–5 EV～+5 EV）
測光方式	マルチ測光/中央重点測光/スポット測光

モニター	3.0 型 TFT 液晶（3:2）（約104万ドット）（視野率約100%） タッチパネル
フラッシュ	内蔵ポップアップ式　GN5.6相当（ISO200・m） [GN4.0 相当（ISO100・m）] 撮影可能範囲：約90 cm～約 4.5 m [交換レンズ（H-FS12032）装着、W端、[ISO AUTO]設定時]
	オート/赤目軽減オート/強制発光/赤目軽減強制発光/ スローシンクロ/赤目軽減スローシンクロ/発光禁止
フラッシュ同調速度	1/50 秒以下（メカシャッター時）
マイク	ステレオ
スピーカー	モノラル
記録メディア	SDメモリーカード/SDHCメモリーカード※/SDXCメモリーカード※ ※ UHS-I 対応
記録画素数 **写真**	画像横縦比[4:3]設定時 4592×3448画素/3232×2424画素/2272×1704画素 画像横縦比[3:2]設定時 4592×3064画素/3232×2160画素/2272×1520画素 画像横縦比[16:9]設定時 4592×2584画素/3232×1824画素/1920×1080画素 画像横縦比[1:1]設定時 3424×3424画素/2416×2416画素/1712×1712画素
画質設定 **動画**	AVCHD 1920×1080/60i/センサー出力60コマ/秒（17 Mbps） 1920×1080/60i/センサー出力30コマ/秒（24 Mbps） 1920×1080/24p/センサー出力24コマ/秒（24 Mbps） 1280×720/60p/センサー出力60コマ/秒（17 Mbps） MP4 1920×1080/30p/センサー出力30コマ/秒（20 Mbps） 1280×720/30p/センサー出力30コマ/秒（10 Mbps） 640×480/30p/センサー出力30コマ/秒（4 Mbps）
クオリティ（圧縮率）	RAW/RAW+ファイン/RAW+スタンダード/ファイン/ スタンダード/MPO＋ファイン/MPO＋スタンダード

記録画像ファイル形式 **写真** **動画**	 RAW/JPEG（DCF準拠、Exif2.3準拠、DPOF 対応）/MPO AVCHD/MP4
音声圧縮方式	AVCHD：Dolby® Digital（2ch） MP4：　AAC（2ch）
インターフェース **デジタル** **アナログビデオ** **オーディオ**	 USB 2.0（High Speed） NTSC コンポジット オーディオライン出力（モノラル）
端子 **AV OUT/DIGITAL** **HDMI**	 専用ジャック（8pin） microHDMI Dタイプ
寸法	約 幅 98.5 mm×高さ54.9 mm×奥行き 30.4 mm （突起部除く）
質量	約204 g（カード、バッテリー含む） 約173 g（本体） 約274 g［カード、交換レンズ（H-FS12032）、バッテリー含む］
推奨使用温度	0 ℃～40 ℃
許容相対湿度	10%RH～80%RH
言語切り換え	なし（日本語のみ）

ワイヤレス転送部

準拠規格	IEEE 802.11b/g/n（無線LAN標準プロトコル）
使用周波数範囲 **（中心周波数）**	2412 MHz～2462 MHz（1～11ch）
暗号化方式	Wi-Fi 準拠　WPA™/WPA2™
アクセス方式	インフラストラクチャーモード

専用バッテリーチャージャー: DE-A99A

定格入力	100 V⎓240 V　50/60 Hz
入力容量	19 VA
定格出力	DC 8.4 V　0.43 A

リチウムイオンバッテリーパック： DMW-BLH7

電圧/ 容量	7.2 V/680 mAh

交換レンズ	H-FS12032 (LUMIX G VARIO 12–32 mm/F3.5–5.6 ASPH./MEGA O.I.S.)
焦点距離	f=12 mm ～ 32 mm （35 mm フィルムカメラ換算：24 mm ～ 64 mm）
絞り形式	7枚羽根　円形虹彩絞り
開放絞り	F3.5（W 端時）～ F5.6（T 端時）
最小絞り値	F22
レンズ構成	7 群　8枚（非球面レンズ 3 枚、ED レンズ 1枚）
撮影範囲	0.2 m ～∞ [撮像面から]（焦点距離 12 mm ～ 20 mm） 0.3 m ～∞ [撮像面から]（焦点距離 21 mm ～ 32 mm）
最大撮影倍率	0.13×（35 mm フィルムカメラ換算：0.26×）
手ブレ補正	あり
O.I.S.スイッチ	なし（手ブレ補正の設定は撮影メニューで行います）
マウント	マイクロフォーサーズマウント
画角	84 °（W端時）～ 37°（T端時）
フィルター径	37 mm
最大径	約55.5 mm
全長	約24 mm （レンズ先端からレンズマウント基準面まで、レンズ鏡筒収納時）
質量	約70 g

安全上のご注意 (必ずお守りください)

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠ **危険**	「死亡や重傷を負うおそれが大きい内容」です。
⚠ **警告**	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠ **注意**	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です)

してはいけない内容です。	実行しなければならない内容です。	気をつけていただく内容です。

⚠危険

バッテリーパック※は、誤った使いかたをしない
(※以降は、「バッテリー」と表記)

液もれ・発熱・発火・破裂の原因になります。

- 指定外のものは使わない
- 分解や加工(はんだづけなど)、加圧、加熱(電子レンジやオーブンなどで)しない
- 水などの液体や火の中へ入れたりしない
- 炎天下(特に真夏の車内)など、高温になるところに放置しない
- 端子部(⊕・⊖)に金属を接触させない
- バッテリーの液もれが起こったら、お買い上げの販売店にご相談ください。液が身体や衣服についたら、水でよく洗い流してください。液が目に入ったら、失明のおそれがあります。すぐにきれいな水で洗い、医師にご相談ください。

バッテリーチャージャー※は、本機専用のバッテリーにのみ使用する
(※以降は、「チャージャー」と表記)

液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、けがをする原因になります。

バッテリーは、本機専用のチャージャーで充電する

指定以外の充電器で充電すると、液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、けがをする原因になります。

⚠警告

異常・故障時には直ちに使用を中止する

異常があったときには、バッテリーを外す

- 煙が出たり、異常なにおいや音がする
- 映像や音声が出ないことがある
- 内部に水や異物が入った
- 電源プラグが異常に熱い
- 本体やチャージャーが破損した

そのまま使うと火災・感電の原因になります。
・チャージャーを使っている場合は、電源プラグを抜いてください。
・電源を切り、販売店にご相談ください。

チャージャーは、誤った使いかたをしない

感電や、ショートによる火災の原因になります。

- 加工しない・傷つけない
- 熱器具に近づけない
- 傷んだら使わない
- 差し込みがゆるい電源コンセントには使わない
- たこ足配線や定格外（交流100 V～240 V以外）で使わない
- ぬれた手で抜き差ししない

電源プラグは、正しく扱う

感電や、ショートによる火災の原因になります。

- 定期的に乾いた布でふく（ほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります）
- 根元まで確実に差し込む
- 接点部周辺に金属類（クリップなど）を放置しない

分解禁止

分解、改造をしない

内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。

内部に金属物を入れたり、水などの液体をかけたりぬらしたりしない

ショートや発熱により、火災・感電・故障の原因になります。

- 機器の近くに水などの液体の入った容器や金属物を置かないでください。
- 特にお子様にはご注意ください。

⚠警告

可燃性・爆発性・引火性のガスなどのある場所で使わない

火災や爆発の原因になります。

- 粉じんの発生する場所でも使わない

接触禁止

雷が鳴ったら、触れない

感電の原因になります。

- 本体やチャージャーには、金属部があります。

乗り物の運転中に使わない

事故の誘発につながります。

- 歩行中も、周囲や路面の状況に十分注意する

運転者などに向けてフラッシュを発光しない

事故の誘発につながります。

メモリーカードは乳幼児の手の届くところに置かない

誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。

- 万一、飲み込んだら、すぐ医師にご相談ください。

ショルダーストラップを乳幼児の手の届くところに置かない

誤ってショルダーストラップを首に巻きつけ、事故につながるおそれがあります。

ショルダーストラップは肩に掛けて使う

けがや事故の原因になります。

- 首に掛けての使用はしない

電源を入れたまま長時間、直接触れて使用しない

本機の温度の高い部分に長時間、直接触れていると低温やけど※の原因になります。
長時間ご使用の場合は、三脚などをお使いください。

※血流状態が悪い人（血管障害、血液循環不良、糖尿病、強い圧迫を受けている）や皮膚感覚が弱い人などは、低温やけどになりやすい傾向があります。

⚠警告

航空機内では電源を切る※

運航の安全に支障をきたすおそれがあります。

※やむをえずこのような環境でカメラ本体を使用するときは、無線LAN機能を使用しないでください。ただし、航空機の離着陸時など、カメラ本体の使用が禁止されている場合もありますので注意してください。

満員電車の中など混雑した場所では、付近に心臓ペースメーカーを装着している方がいる場合があるので、電源を切る

本機からの電波がペースメーカーの作動に影響を与える場合があります。

心臓ペースメーカーを装着している方は装着部から22 cm以上離す

本機からの電波がペースメーカーの作動に影響を与える場合があります。

自動ドア、火災報知器などの自動制御機器の近くでは電源を切る

本機からの電波が自動制御機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。

病院内や医療用電気機器のある場所では電源を切る

本機からの電波が医療用電気機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。

⚠注意

フラッシュ発光部およびAF補助光は、至近距離で直接見ない

誤って発光した場合、視力障害などの原因になることがあります。

フラッシュを人の目に近づけて発光しない

視力障害などの原因になることがあります。

- 乳幼児を撮影するときは、1 m以上離してください。

フラッシュの発光部分を直接手で触らない・ごみなどの異物が付いたまま使わない・テープなどでふさがない

やけどの原因になることがあります。
発光熱によって煙などが出る原因になることがあります。

- 発光直後は、しばらく触らないでください。

次のような場所に放置しない

火災や感電の原因になることがあります。

- 異常に温度が高くなるところ（特に真夏の車内やボンネットの上など）
- 油煙や湯気の当たるところ
- 湿気やほこりの多いところ

次のときは、バッテリーを取り出す

バッテリーを入れたまま放置すると、絶縁劣化やろう電などにより、火災の原因になることがあります。

- 長期間使わないとき
- お手入れのとき

レンズを太陽や強い光源に向けたままにしない

集光により、内部部品が破損し、火災の原因になることがあります。

⚠注意

3Dの撮影について

3D交換レンズを付けて最短撮像距離より近い被写体を撮影しない

3D効果がより強く見える場合があり、疲労感、不快感の原因になることがあります。

- 3D交換レンズ(別売:H-FT012)装着時の最短撮像距離は0.6 mです。

3D交換レンズを付けて撮影の際、本機の揺れに注意する

車に乗車中や歩行中などに撮影したブレた画像は、疲労感、不快感の原因になることがあります。

- 三脚の使用をおすすめします。

3Dの視聴について

光過敏の既往症のある人、心臓に疾患のある人、体調不良の人は3D撮影画像を視聴しない

病状悪化の原因になることがあります。

3D撮影画像の視聴中に疲労感、不快感など異常を感じた場合には、視聴を中止する

そのまま視聴すると体調不良の原因になることがあります。

- 適度な休憩をとってください。

■ 近視や遠視の人、左右の視力が異なる人や乱視の人は視力矯正めがねの装着などにより、視力を適切に矯正する
■ 3D撮影画像の視聴中に、はっきりと二重に像が見えたら視聴を中止する

- 3D撮影画像の見えかたには個人差があります。視力を適切に矯正したうえで3D撮影画像をご覧ください。
- テレビの3D設定や本機の3D出力設定を2Dに切り換えることもできます。

3D撮影画像を視聴する場合は、30～60分を目安に適度な休憩をとる

長時間の視聴による視覚疲労の原因になることがあります。

3D撮影画像の視聴年齢については、およそ5～6歳以上を目安にする

お子様の場合は、疲労や不快感などに対する反応がわかりにくいため、急に体調が悪くなることがあります。

- お子様がご視聴の際は、保護者の方が目の疲れがないか、ご注意ください。

保証とアフターサービス(よくお読みください)

使いかた・お手入れ・修理などは
■ まず、お買い求め先へご相談ください。

▼お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名	
電話	(　　)　　ー
お買い上げ日	年　月　日

修理を依頼されるときは
「メッセージ表示」「Q & A 故障かな？と思ったら」(71 ページと 72 ～ 75 ページ、ならびに取扱説明書 活用ガイド(PDF形式))でご確認のあと、直らないときは、まず接続している電源を外して、お買い上げ日と下の内容をご連絡ください。

●製品名	デジタルカメラ/レンズキット
●品　番	DMC-GM1K
●故障の状況	できるだけ具体的に

●保証期間中は、保証書の規定に従ってお買い上げの販売店が修理をさせていただきますので、おそれ入りますが、製品に保証書を添えてご持参ください。
保証期間 : お買い上げ日から本体 1 年間
(但し、CD-ROM内のソフトウェアの内容は含みません)

●保証期間終了後は、診断をして修理できる場合はご要望により修理させていただきます。
※ 修理料金は次の内容で構成されています。

技術料　診断・修理・調整・点検などの費用

部品代　部品および補助材料代

出張料　技術者を派遣する費用

※補修用性能部品の保有期間　8年
当社は、このデジタルカメラ/レンズキットの補修用性能部品(製品の機能を維持するための部品)を、製造打ち切り後8年保有しています。

■ 転居や贈答品などでお困りの場合は、次の窓口にご相談ください。

ご使用の回線（IP電話やひかり電話など）によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。

●使いかた・お手入れ・修理に関するご相談は

パナソニック LUMIX（ルミックス）ご相談窓口	365日 受付9時～20時
電話 フリーダイヤル 0120-878-638（パナは ルミっくすパチ！） ※携帯電話・PHSからもご利用になれます。	

●宅配修理サービスのご案内（Web サイトからもお申し込みいただけます）

パナソニック 修理サービスサイト
http://lumix.jp/repair/
インターネットでのご依頼も可能です。

■ お申込みいただいた修理依頼に基づき当社指定の宅配業者が修理依頼品をお引取りにお伺いし、修理が完了した後に修理品をご自宅までお届けするサービスです。
（このサービスをご利用の場合、別途宅配費用がかかります）

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】
パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。
また、折り返し電話をさせていただくときのために発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。
個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

愛情点検 長年ご使用のデジタルカメラ/レンズキットの点検を！

こんな症状はありませんか	・煙が出たり、異常なにおいや音がする ・映像や音声が乱れたり出ないことがある ・内部に水や異物が入った ・本体やチャージャーが破損した ・その他の異常や故障がある
ご使用中止	故障や事故防止のため、本体の電源を切り、充電時はコンセントからチャージャーを抜いて、必ず販売店に点検をご相談ください。

地域窓口へ直接お持ち込みされる場合は、ホームページにて地図を掲出しております。
http://panasonic.co.jp/cs/service/area.html

■ 各地域の 修理ご相談窓口

※電話番号をよくお確かめの上、おかけください。

• 地区・時間帯によって、集中修理ご相談窓口に転送させていただく場合がございます。

北海道地区	札 幌	☎(011)894-1255	札幌市厚別区厚別南2丁目17-7
東北地区	宮 城	☎(022)387-1117	仙台市宮城野区扇町7-4-18
	山 形	☎(023)641-8100	山形市平清水1丁目1-75
首都圏地区	川 口	☎(048)297-7820	川口市戸塚2丁目23-20
	千 葉	☎(043)208-6034	千葉市中央区末広5丁目9-5
	東 京	☎(03)5303-6901	東京都杉並区本天沼3丁目43-16
	秋葉原	☎(03)3251-4616	千代田区外神田1丁目8-1第三電波ビル
	立 川	☎(042)537-5611	立川市幸町4丁目3-1
	神奈川	☎(045)828-2180	横浜市戸塚区品濃町561-4
中部地区	愛 知	☎(052)819-0225	名古屋市瑞穂区塩入町8-10
近畿地区	京 都	☎(075)646-2123	京都市南区上鳥羽中河原3番地
	大 阪	☎(06)7730-8888	門真市松生町1-15
	茨 木	☎(072)624-8501	茨木市松下町1番1号
	兵 庫	☎(078)796-3140	神戸市須磨区弥栄台3丁目13-4
中国地区	松 江	☎(0852)23-1128	松江市平成町182番地14
	岡 山	☎(086)242-6236	岡山市北区野田3丁目20-14
四国地区	香 川	☎(087)874-3110	高松市国分寺町国分359番地3
九州地区	福 岡	☎(092)593-8002	春日市春日公園3丁目48
沖縄地区	沖 縄	☎(098)877-1207	浦添市城間4丁目23-11

所在地、電話番号は変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。
最新の「各地域の修理ご相談窓口」はホームページをご活用ください。
http://panasonic.co.jp/cs/service/area.html

0513

さらに詳しい説明は

本機操作の詳細については、CD-ROM(付属)の「取扱説明書 活用ガイド」に記載されています。パソコンにコピーしてお読みください。

■ Windowsの場合

1. **パソコンの電源を入れ、CD-ROM(付属)を入れる**
2. **インストールメニューが表示されたら、[取扱説明書] をクリックする**
   - 自動再生画面が表示された場合、[Launcher.exe の実行]を選ぶと、メニューを表示できます。
   - Windows 8 では CD-ROM を入れた後に表示されるメッセージをクリックし、[Launcher.exe の実行] を選ぶと、メニューを表示できます。
   - [コンピューター]内の[VFF ○○○○] (○○○○は機種によって異なる)をダブルクリックすることでもメニューを表示できます。
3. **[日本語]が選ばれている状態で、[取扱説明書]をクリックしてコピーする**
4. **デスクトップの[取扱説明書]のショートカットアイコンをダブルクリックして開く**

■ 取扱説明書 活用ガイド (PDF形式)が開けないときは

取扱説明書 活用ガイド (PDF形式)を閲覧・印刷するためには、Adobe Acrobat Reader 5.0 以降、またはAdobe Reader 7.0以降が必要です。
お使いのパソコンにインストールされていない場合は、CD-ROM(付属)を入れ、[Adobe Reader]をクリックしたあと、画面のメッセージに従って進み、インストールしてください。
(対応OS: Windows XP SP3/Windows Vista SP2/Windows 7/Windows 8)

- Adobe Readerは、下記のサイトからダウンロードすることもできます。
  http://get.adobe.com/jp/reader/otherversions/

■ 取扱説明書 活用ガイド (PDF形式)をアンインストールするには

"Program Files￥Panasonic￥Lumix￥" フォルダー内のPDFファイルを削除してください。

■ Macの場合

1. **パソコンの電源を入れ、CD-ROM(付属)を入れる**
2. **CD-ROMの「Manual」フォルダーを開く**
   - 「Manual」フォルダーがもう一度表示されます。
3. **表示された「Manual」フォルダーを開き、言語フォルダーの中の PDF ファイルをコピーする**
4. **PDFファイルをダブルクリックして開く**

「取扱説明書 活用ガイド」は、下記サポートサイトでもご覧いただけます。

http://panasonic.jp/support/dsc/

- スマートフォン/タブレットでも取扱説明書をご覧いただけます。詳しくは、お使いのパソコンなどで、上記のサポートサイトをお読みください。

CLUB Panasonic ご愛用者登録のご案内

このたびは、パナソニック商品をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。
さて、弊社ではより良い商品とサービスをお客様にご提供できるようにパナソニック商品をご購入の方にご愛用者登録をお願いしています。
ぜひ、この機会にご愛用者登録をお願いいたします。
※皆様の貴重なご意見を、製品の開発や改善の参考とさせていただきたいと思いますので、アンケートにもご協力いただきますようお願い申し上げます。

ご登録特典１	**家電情報をまとめて登録／管理** 購入年月や製造番号などをＭｙ家電リストに保存できます。
ご登録特典２	**商品情報をスムーズに入手** Q&A や取扱説明書など、商品に関する情報が見られます。
ご登録特典３	**エンジョイポイントがたまる** たまったポイントでプレゼントに応募できます。

ご登録手順：
下記のどちらかを選んでください。

■ パソコンからの登録方法

次のアドレスにアクセスしてください。
http://club.panasonic.jp/

■ 携帯電話からの登録方法

❶ 二次元バーコードでアクセス

❷ 次のアドレスにアクセスしてください。
http://mobile.club.panasonic.jp/

※ 携帯電話から登録する場合は、携帯電話のメールアドレスが必要です。

お問い合わせ先：
CLUB Panasonic 事務局（club-info @ panasonic.jp）

会員サイト「CLUB Panasonic」で「ご愛用者登録」をしてください

PC http://club.panasonic.jp/ 携帯

※このサービスはWEB限定のサービスです。

■使いかた・お手入れ・修理に関するご相談は

パナソニック 総合お客様サポートサイト

http://panasonic.co.jp/cs/

パナソニック LUMIX(ルミックス)ご相談窓口 365日 受付9時～20時

パナは ルミっくすパチ！

電話 フリーダイヤル 0120-878-638

携帯・PHS OK

※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

■上記番号がご利用いただけない場合 06-6907-1187

■FAX フリーダイヤル 0120-878-236

Help desk for foreign residents in Japan

Tokyo (03) 3256 - 5444 **Osaka** (06) 6645 - 8787

Open : 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays / Sundays / national holidays)

※上記の内容は、予告なく変更する場合があります。ご了承ください。

■宅配修理サービスのご案内（Web サイトからもお申し込みいただけます）

パナソニック 修理サービスサイト

http://lumix.jp/repair/

インターネットでのご依頼も可能です。

●お申込みいただいた修理依頼に基づき当社指定の宅配業者が修理依頼品をお引取りにお伺いし、修理が完了した後に修理品をご自宅までお届けするサービスです。
（このサービスをご利用の場合、別途宅配費用がかかります）

ご使用の回線（IP電話やひかり電話など）によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。
本書の「保証とアフターサービス」もご覧ください。

QuickTime

QuickTimeおよびQuickTimeロゴは、ライセンスに基づいて使用されるApple Inc.の商標または登録商標です。

パナソニック株式会社 AVCネットワークス社

〒571-8504 大阪府門真市松生町1番15号

© Panasonic Corporation 2013